

令和4年度事業報告書

令和5年5月

横浜市立みなと赤十字病院

目 次

1	概要	1
1-1	施設概要	
1-2	建物図	
1-3	施設基準取得状況	
2	政策的医療	10
2-1	24時間365日の救急医療及び二次救急医療	
2-2	小児救急医療	
2-3	周産期救急医療	
2-4	精神科救急医療	
2-5	精神科身体合併症医療	
2-6	緩和ケア医療	
2-7	アレルギー疾患医療	
2-8	障害児者合併症医療	
2-9	災害時医療	
2-10	市民の健康危機への対応	
3	指定管理者独自の取組	26
3-1	新型コロナウイルス感染症への対応	
3-2	卒後臨床研修評価機構（JCEP）による臨床研修評価	
4	地域医療の質の向上に向けた取組	30
4-1	医療における安全管理（安全）	
4-2	医療における安全管理（感染）	
4-3	医療倫理に基づく医療の提供	
4-4	地域医療機関との連携・支援（医療連携課）	
4-5	地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室）	
4-6	市民委員会	
4-7	治験・受託研究	
4-8	患者・市民に対する相談・啓発活動	
4-9	患者サービス	
4-10	医療データベースの構築と情報提供	

5	職員研修	58
5-1	職員研修（医師）	
5-2	職員研修（看護部）	
5-3	職員研修（薬剤部）	
5-4	職員研修（医療技術部門）	
5-5	職員研修（事務部）	
6	院外からの研修受入れ	69
6-1	院外からの研修受入れ（医師）	
6-2	院外からの研修受入れ（看護部）	
6-3	院外からの研修受入れ（薬剤部）	
6-4	院外からの研修受入れ（リハビリテーション科部）	
6-5	院外からの研修受入れ（救命救急センター）	
7	職員	75
7-1	組織図	
7-2	職員配置状況	
8	施設管理	78
8-1	医療機器の整備状況	
8-2	施設設備改修報告	
8-3	施設設備管理報告	
8-4	外部委託	
9	経営報告	84
9-1	稼働状況等報告	
9-2	中央部門業務報告	
9-3	決算書	

1 概要

1-1 施設概要

1 名称

横浜市立みなと赤十字病院

2 開設者

横浜市長（指定管理者として日本赤十字社が運営）

3 開設年月日

平成 17 年 4 月 1 日

4 病床数

634 床（一般 584 床、精神 50 床）

5 標榜科

内科、内分泌内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ科、緩和ケア内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、脳神経内科、アレルギー科、精神科、小児科、外科、消化器外科、大腸外科、肝臓外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

以上 36 科

6 沿革

- ・平成 15 年 3 月 横浜市立病院あり方検討委員会（横浜市長の諮問機関）が新病院を公設民営とする最終答申を提出
- ・平成 15 年 9 月 横浜市会で新病院運営の公設民営化を決定
- ・平成 15 年 11 月 横浜市が指定管理者評価委員会を設置
日本赤十字社が指定管理者提案申込書を横浜市に提出
- ・平成 16 年 1 月 評価委員会が提案書による競争の結果として、
「指定管理者として日本赤十字社がふさわしい」との
評価報告書を市長に提出
- ・平成 16 年 2 月 横浜市会で日本赤十字社を指定管理者として決定
- ・平成 16 年 9 月 横浜市会で新病院名称を「横浜市立みなと赤十字病院」
に決定
- ・平成 17 年 4 月 横浜市立みなと赤十字病院が開院
初代院長 西岡 清
病床数 584 床、23 診療科

- 瀬谷区にあった横浜市小児アレルギーセンター（平成 17 年 3 月 31 日閉院）の機能を移転
- ・平成 18 年 4 月 精神科診療開始（入院は平成 19 年 5 月から）
 - ・平成 18 年 9 月 地域医療機関向け広報誌「みなとからの風」発刊
 - ・平成 19 年 3 月 病院機能評価 Ver5.0 取得
 - ・平成 19 年 5 月 精神科 50 床運営開始、病床数 634 床
 - ・平成 19 年 7 月 新潟県中越沖地震発生、救護班派遣
 - ・平成 21 年 2 月 地域医療支援病院承認
 - ・平成 21 年 4 月 救命救急センターの指定
 - ・平成 22 年 3 月 神奈川県DMA T 指定病院
 - ・平成 22 年 7 月 第 2 代院長 四宮 謙一 就任
 - ・平成 23 年 3 月 東日本大震災発生、救護班・神奈川県DMA T 派遣
災害備蓄倉庫竣工
 - ・平成 23 年 5 月 病院広報誌「みなと赤十字病院だより」発刊
 - ・平成 23 年 11 月 がんセンター、がん相談支援センター開設
 - ・平成 24 年 3 月 病院機能評価 Ver6.0 取得
 - ・平成 24 年 4 月 地域がん診療連携拠点病院の指定
 - ・平成 24 年 7 月 地域周産期母子医療センターの認定
 - ・平成 24 年 11 月 病院広報誌リニューアル、「みんなのみなと」発刊
 - ・平成 25 年 1 月 PET / CT 導入
 - ・平成 25 年 4 月 標榜科を 23 診療科から 36 診療科へ細分化
 - ・平成 26 年 2 月 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」導入
 - ・平成 26 年 3 月 神奈川県DMA T-L 指定病院
 - ・平成 26 年 11 月 海難事故や災害時に、当院ヘリポートの使用を第三管区
海上保安本部と合意
 - ・平成 27 年 4 月 臨床試験支援センター開設
リハビリテーションセンター開設
外傷センター開設
心臓病センター開設
 - ・平成 27 年 9 月 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨発生、
救護班・神奈川県DMA T 派遣
 - ・平成 27 年 10 月 カスタマーリレーションセンター開設
新MR I 導入（PHILIPS 社製 Ingenia 3.0T CX）
 - ・平成 28 年 4 月 平成 28 年 4 月熊本地震発生、救護班派遣
 - ・平成 28 年 5 月 東京国際空港（羽田空港）大韓航空機火災事故に救護班
を派遣
 - ・平成 29 年 3 月 病院機能評価（一般病院 2 3rdG : Ver1.1）取得
 - ・平成 29 年 4 月 第 3 代院長 野田 政樹 就任

- 入院支援センター開設
- ・平成 29 年 6 月 人間ドック健診施設機能評価の認定を取得
- ・平成 30 年 2 月 横浜市乳がん連携病院に指定
- ・平成 30 年 4 月 ハイブリット手術室 稼動開始
- D P C 特定病院群に指定
- 入院支援センターを入退院支援センターに組織変更
- ・平成 30 年 9 月 北海道胆振東部地震発生、救護班派遣
- ・平成 30 年 10 月 神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院に選定
- ・平成 31 年 2 月 特定行為研修指定研修機関に指定
- ・平成 31 年 4 月 神奈川県難病医療支援病院に指定
- ・令和元年 6 月 第 4 代院長 伊藤 宏 就任
- ・令和元年 9 月 京急線・トラック衝突事故に神奈川DMA T 派遣
- 令和元年台風第 15 号災害発生、千葉県に救護班派遣
- ・令和 2 年 1 月 がんゲノム医療連携病院に指定
- ・令和 2 年 2 月 新型コロナウイルス感染症に係るクルーズ船対応にDM
A T 派遣
- ・令和 2 年 9 月 JMIP（外国人患者受入れに関する認証制度）の認証を取
得
- ・令和 2 年 12 月 横浜市認知症疾患医療センターに指定
- ・令和 3 年 7 月 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会時の大
会関係者受入れ
- ・令和 4 年 9 月 病院機能評価 一般病院 2 3rdG:Ver. 2.0 / 高度専門機能
「救急医療・災害時の医療」Ver. 1.0 認定
- ・令和 5 年 4 月 第 5 代院長 大川 淳 就任

1-2 建物図

屋上	ヘリポート
8階	病棟 コンシェルジュデスク
7階	A病棟 B病棟 C病棟 D病棟
6階	A病棟 B病棟 C病棟 D病棟 患者図書室
5階	A病棟 C病棟 D病棟 NICU 透析室 精神科外来 めまい・平衡神経科外来 化学療法センター スキルラボ 理容室 コンビニエンスストア
4階	電気室・機械室
3階	管理部門（院長室、副院長室、看護部長室、事務部長室） 救急病棟 ICU HCU 手術室 心臓カテーテル室 医局 医局図書室 看護部 事務部 会議室
2階	健診センター プレストセンター アレルギーセンター 緩和ケアセンター 放射線科（X線撮影、CT、MRI、血管撮影、心臓カテーテル） 内視鏡検査室 感染管理室 検査部（検体 輸血 病理 細菌） 調度課・SPD MEセンター 栄養課 調理室
1階	総合内科（内分泌内科、リウマチ科、血液内科） 消化器内科 外科 心臓病センター（循環器内 科、心臓血管外科） 脳神経センター（脳神経内科、脳神経外科） 麻酔科 呼吸器病センター（呼 吸器内科・呼吸器外科） 整形外科 泌尿器科 皮膚科 腎臓内科 耳鼻いんこう科 眼科 小児科 産婦人科 形成外科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 薬剤部 中央検査（採血 尿検査 心電図 超音波 筋電図 脳波） 救急外来（受付、診察室、処置室、X線撮影、CT室） 総合案内 入退院支援センター 医療連携センター（療養・福祉相談室、がん相談支援センター、 認知症疾患医療センター） 栄養指導室 初診受付 再診受付 再来受付コーナー 保険証確認窓口 処方箋 FAX コーナー 証明書発行受付 中央待合ホール 自動精算機 正面入口 時間外入口 緩和ケアセンター入口 防災センター レストラン カフェ ATM コンビニエンスストア
B1階	放射線科（RI リニアック PET/CT） 地下出入口 地下駐車場 霊安室 職員食堂
B2階	免震ピット

1-3 施設基準取得状況

1 基本診療料

地域歯科診療支援病院歯科初診料 歯科外来診療環境体制加算 2
歯科診療特別対応連携加算 一般病棟入院基本料（急性期一般1）
急性期充実体制加算 注2 精神科充実体制加算 救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算 2
医師事務作業補助体制加算 2（40対1）
急性期看護補助体制加算（25対1加算5割以上）
夜間100対1急性期看護補助体制加算
看護職員夜間配置加算（12対1加算1） 療養環境加算
重症者等療養環境特別加算 無菌治療室管理加算1 緩和ケア診療加算
精神科応急入院施設管理加算 精神病棟入院時医学管理加算
精神科身体合併症管理加算 摂食障害入院医療管理加算
栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算1
感染対策向上加算1 注2 指導強化加算 患者サポート体制充実加算
重症患者初期支援充実加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊娠管理加算 ハイリスク分娩管理加算
精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 呼吸ケアチーム加算
術後疼痛管理チーム加算 後発医薬品使用体制加算1
病棟薬剤業務実施加算1 病棟薬剤業務実施加算2 データ提出加算2
入退院支援加算1 認知症ケア加算1 せん妄ハイリスク患者ケア加算
精神疾患診療体制加算 排尿自立支援加算 地域医療体制確保加算
地域歯科診療支援病院入院加算 救命救急入院料1 注3 救急体制充実加算1
特定集中治療室管理料1 注1 算定上限日数に関する基準
注4 早期離床・リハビリテーション加算 注5 早期栄養介入管理加算
ハイケアユニット入院医療管理料1 注3 早期離床・リハビリテーション加算
注4 早期栄養介入管理加算 小児入院医療管理料2 注7 養育支援体制加算
緩和ケア病棟入院料1 精神科救急・合併症入院料 看護職員処遇改善評価料

2 特掲診療料

ウイルス疾患指導料 外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準
外来栄養食事指導料の注3に規定する施設基準
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料ロ がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ 外来緩和ケア管理料 糖尿病透析予防指導管理料
小児運動器疾患指導管理料 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
婦人科特定疾患治療管理料 腎代替療法指導管理料 一般不妊治療管理料
二次性骨折予防継続管理料1 二次性骨折予防継続管理料3
下肢創傷処置管理料 地域連携小児夜間・休日診療料2
院内トリアージ実施料
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1
外来腫瘍化学療法診療料1 連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料）
ニコチン依存症管理料 開放型病院共同指導料

ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ） がん治療連携計画策定料
 外来排尿自立指導料 ハイリスク妊産婦連携指導料 1
 肝炎インターフェロン治療計画料 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料 1
 医療機器安全管理料 2 医療機器安全管理料（歯科）
 精神科退院時共同指導料 2 歯科治療時医療管理料 在宅患者訪問看護・指導料
 持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
 持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
 遺伝学的検査 骨髄微小残存病変量測定 BRCA1/2 遺伝子検査
 がんゲノムプロファイリング検査 先天性代謝異常症検査
 HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 検体検査管理加算（Ⅰ）
 検体検査管理加算（Ⅱ） 遺伝カウンセリング加算
 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
 胎児心エコー法 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
 ヘッドアップティルト試験 脳波検査判断料 1 単線維筋電図
 神経学的検査 補聴器適合検査 小児食物アレルギー負荷検査
 内服・点滴誘発試験 有床義歯咀嚼機能検査 1 のイ
 有床義歯咀嚼機能検査 1 のロ及び咀嚼能力検査
 ポジトロン断層撮影 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
 CT 撮影及びMRI 撮影 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算 1
 無菌製剤処理料 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算）
 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算）
 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算）
 がん患者リハビリテーション料 歯科口腔リハビリテーション料 2
 認知療法・認知行動療法 1
 抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る）
 医療保護入院等診療料 エタノールの局所注入（甲状腺）
 エタノールの局所注入（副甲状腺） 人工腎臓
 導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算
 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 手術用顕微鏡加算
 CAD/CAM 冠及びCAD/CAM インレー
 皮膚悪性腫瘍切除術（センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る）
 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）
 椎間板内酵素注入療法
 癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
 脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便過活動膀胱）
 緑内障手術（緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）

内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）
 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
 内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）
 術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術
 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）及び乳輪
 温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの））
 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻
 孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
 結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
 尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
 膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） 胸腔鏡下弁形成術
 胸腔鏡下弁置換術
 経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）
 経皮的僧帽弁クリップ術 不整脈手術
 左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの） 経皮的中隔心筋焼灼術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
 両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換
 術（心筋電極の場合）
 両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交
 換術（経静脈電極の場合）
 植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）及び植込型除細動器交換術（心
 筋リードを用いるもの）
 植込型除細動器移植術（経動脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用い
 るもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経動脈電極抜去術
 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペー
 シング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペ
 ーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
 経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方） 内視鏡的逆流防止粘膜切除術
 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
 胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
 体外衝撃波胆石破砕術 腹腔鏡下肝切除術 体外衝撃波膵石破砕術
 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
 内視鏡的小腸ポリープ切除術
 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る）（内視
 鏡手術用支援機器を用いる場合）

体外衝撃波腎・尿管結石破砕術

腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）

腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術

膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの）

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）

腹腔鏡下仙骨隆固定術

腹腔鏡下仙骨隆固定術（内視鏡手術用支援機器を用いた場合）

腹腔鏡下子宮癒痕部修復術 体外式膜型人工肺管理料

医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1

医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1

医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1

胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）

周術期栄養管理実施加算 輸血管管理料Ⅰ 輸血適正使用加算

人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 胃瘻造設時嚥下機能評価加算

歯周組織再生誘導手術 広範囲顎骨支持型装置埋入手術

歯根端切除手術の注3 麻酔管理料（Ⅰ） 注5 周術期薬剤管理加算

麻酔管理料（Ⅱ） 注2 周術期薬剤管理加算

放射線治療専任加算 外来放射線治療加算

高エネルギー放射線治療 1回線量増加加算 画像誘導放射線治療（IGRT）

体外照射呼吸性移動対策加算 定位放射線治療

定位放射線治療呼吸性移動対策加算 病理診断管理加算1

悪性腫瘍病理組織標本加算 クラウン・ブリッジ維持管理料

3 その他

入院時食事療養（Ⅰ） 酸素の購入単価

4 保険外併用療養費

入院医療に係る特別の療養環境の提供

特定機能病院、地域医療支援病院及び外来機能報告対象病院の初診

特定機能病院、地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関の再診

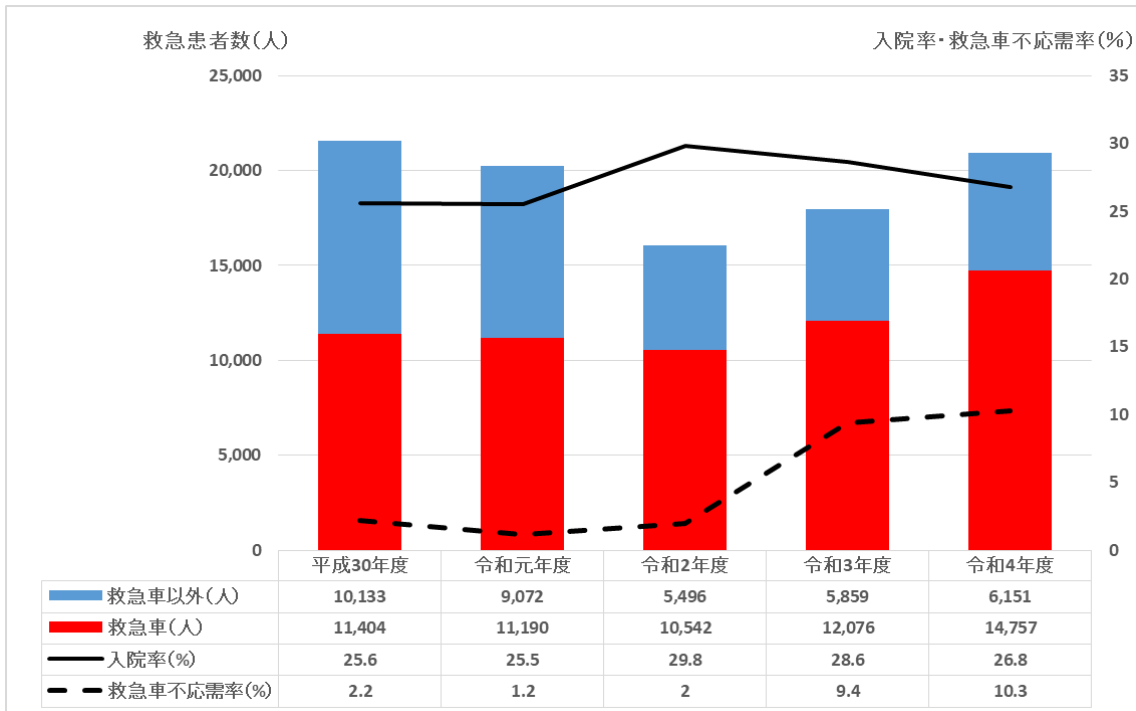
入院期間が180日を超える入院

2 政策的医療

2-1 24時間365日の救急医療及び二次救急医療

1 データ

来院経路別救急患者数と入院率・救急車不応需率



2 成果

令和4年度の救急車による受入患者数は14,757名であり、前年度から22%増加し過去最高となった一方、救急車受入要請の不応需率は昨年度よりさらに増加し10.3%となった。新型コロナウイルス感染症の第7波および第8波時に横浜市内の救急車搬送困難事案が大きく増加したのに伴い、救急車受入要請件数がすでに増加していた前年度13,332件からさらに16,452件に増加したこと、コロナ病床逼迫により不応需件数も多くなったことによる。救急患者全体の入院率は26.8%と前年よりやや低下した。令和4年も全国救命救急センター充実段階評価において、最上位のS評価（全国で86施設、横浜市で4施設）を5年連続で得ることができた。引き続き、救命救急センターの質の向上に努めていきたい。

3 課題

新型コロナウイルス感染症第7波および第8波において、横浜市内の救急車搬送困難が著しく増加した。コロナ以外の救急患者を含め遠方から当院への救急車受入要請が大きく増加し、救急初療室および回復室ベッドは患者で溢れかえる時間帯が続いた。搬送困難となった救急車の受入に尽力したが、受入要請数は当院の対応能力を超えており、結果的に不応需率は増加した。パンデミック時の救急搬送困難については1病院のみで解決できる問題ではなく、今後の地域全体の医療提供体制の課題である。

また、救命救急センター発足以来の懸案であった救急外来部門の狭隘問題は、今後の拡張再整備を予定している。

2-2 小児救急医療

1 データ・成果

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小児科救急患者数	2,460件	932件	1,353件	1,947件
うち、入院患者数	262件	113件	167件	323件
救急車受入件数	815件	444件	652件	1,161件
新入院患者数	1,160人	679人	703人	852人
児童虐待防止委員会	定例会2回	定例会2回	定例会2回	定例会2回
	臨時6回	臨時0回	臨時3回	通告3件*

*委員会にて事後承認

近年の小児人口の減少、予防接種の普及による急性疾患の減少により、救急患者数は減少している。新型コロナウイルスの発生による急性疾患の減少や病院忌避による受診抑制から若干増加したものの、前水準には戻っていない。

地域の小児救急患者には適切に対応している。

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
新生児 搬送受入数	7	12	6	3	3	5	4	4

神奈川県周産期医療体制整備計画等により横浜市内のNICUは充足している。また、総合周産期母子医療センター（基幹病院）のNICU増床もあり、基幹病院で受入困難な新生児搬送は減少している。基幹病院のNICUに余裕があるため基幹病院から中核病院へのバックトランスファーも減少していると考えられる。平成29年度にNICU加算2の要件を満たせず同算を取り下げたことにより看護体制が手薄になり、新生児科医の不在により更に受入れが難しくなるなど悪循環となっている。

救急患者は減少しているが、地域では支援が必要な家庭は増加していると推定されている。不適切な療育が疑われる受診には、医療社会事業課を通じ、在住区への情報提供を行っている。

2 課題

予防接種の普及、少子化による小児急性期疾患患者の減少は今後も続くことが予想される。小児科における24時間、365日の小児救急対応に必要な小児科医師数には変わりはないが、患者数の減少による収益減少への対応が課題である。また、当院だけでなく広域な小児救急医療体制の再考が必要になってくる。

2-3 周産期救急医療

1 データ

周産期救急医療は主に母体搬送や新生児搬送であるが、妊娠中の卵巣嚢腫茎捻転、虫垂炎、頭蓋内疾患、感染性疾患もときにある。また、未受診妊婦のいわゆる飛び込み分娩、自宅分娩なども含まれる。更に精神疾患、身体疾患合併妊婦の妊娠中期以降、必要時からの受入れも病病連携または病診連携として行っており、これは広義の周産期救急に当てはまる。

当院の周産期担当（産婦人科、小児科）は「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という目標を掲げ、診療にあたっている。

平成 24 年 7 月 25 日付で当院は地域周産期母子医療センターに指定され、産科と小児科（NICU）の協力のもと、他の産科施設からの母体搬送の受入れを中心として、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設として横浜市の周産期医療の一翼を担っている。

なお、母体搬送受入れの基準は妊娠 34 週以降、推定体重 1,500g 以上としている。

<母体搬送受入れ数>

2018 年度	11 件
2019 年度	3 件
2020 年度	5 件
2021 年度	13 件
2022 年度	5 件

<母体搬送数>

2018 年度	19 件
2019 年度	7 件
2020 年度	9 件
2021 年度	6 件
2022 年度	13 件

<分娩総数>

2018 年度	785 件
2019 年度	653 件
2020 年度	491 件
2021 年度	566 件
2022 年度	554 件

	救急患者数	救急車受入	入院患者数
2018年度	743	95	511
2019年度	644	78	405
2020年度	500	65	353
2021年度	563	81	348
2022年度	519	78	335

2 成果

分娩総数は減少傾向であるが、下げ止まりつつある。

産科は24時間365日の体制で当直・オンコール体制を組み、緊急手術もいつでも対応できる体制をとっている。これには、産科、小児科のみならず、救急外来、手術室、麻酔科、他科も協力の上で成り立っていることである。

「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という、事業目標はおおむね達成していると考えている。

3 課題

ハイリスク妊娠の対応が当院の重要な役割であるので、より充実した体制を作っていきたい。

また、無痛分娩、助産師外来などはすでに施行しているが、地域連携を強化するなど更に充実させることにより周産期医療の質の向上、満足度の向上を図りたい。

2-4 精神科救急医療

1 データ

令和4年度実績

	受入れ数		入院形態			転帰		
	受診数	入院数	措置	医保	任意	転院	退院	その他
3次救急	22	20	16	4	0	13	7	0
2次救急	6	5	—	5	0	1	4	0

精神科救急受診数の推移（年度別）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
3次救急	26	31	34	37	32	24	29	27	22
2次救急	13	13	14	11	8	7	8	6	6

2 成果

- ・実施要項に準じて人員を配置し、精神科救急医療を滞りなく行えた。
- ・政策医療とは別に、自殺企図例などで救急病棟より精神科病棟に入院する例も多い。

3 課題

- ・精神科救急医療を掲げているが、実際は身体合併症がある精神科救急患者が選択的に送られてくる問題がある。また、そのような身体合併症があるケースの後方転送が滞る状況が依然続いている。
- ・基幹病院は待機拘束時間が多い割に受入れ患者数は少なくシステムの効率が悪い。救急システムの在り方について各基幹病院、後方病院、行政を交えて意見交換をし、改正していく時期に来ている。
- ・救急部を受診したが身体的な問題はなく、精神症状のみ入院適応がある患者がおり、受入れ先の調整に苦慮することがある。
- ・精神保健福祉法、特に23条通報に関する警察の理解ならびに診察命令を出す行政の理解認識と現場の感覚にずれがあり、自傷他害のおそれが高くても通報がされず現場での対応に困ることや、通報されても措置診察にならずソフト救急に乗ってくるなどの問題点があるため基幹病院、行政、警察の定期的な意見交換が必要である。

2-5 精神科身体合併症医療

1 データ

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
3病院入院数		83	85	56
当院受入れ数		64	66	65
当院入院数		41	50	48
平均在院日数		18.3	24.4	21.3
転帰	依頼元病院	35	41	41
	他病院	3	2	4
	退院	2	1	1
	入院中	0	1	1
	死亡	1	5	1

2 成果

- ・平成20年度以降、当院の年間の受入れ数は身体合併症転院事業の7～8割にあたるが、令和4年度も入院総数の8割以上を受け入れることができた。
- ・この他、時間外に行政を介さずに受け入れた症例もある。

3 課題

- ・引き続き、身体科医師の協力体制のもとで同事業を円滑に進める。
- ・保護室が必要な症例に関して、精神科救急ベッドの空床状況によっては受入れが困難になる場合がある。

2-6 緩和ケア医療

1 データ

(1) 緩和ケアチーム実績

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
緩和ケアチームへの依頼数	新規	128件	141件	187件
	継続	9件	3件	7件
	延べ件数	1984件	2166件	3027件

緩和ケアチームへの依頼内容

- 疼痛・嘔気・呼吸困難などの身体ケア 95%
- せん妄・抑うつ・不眠などの精神的ケア 5%

(2) 緩和ケア専門外来実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
初診	10件	9件	6件
再診	83件	83件	81件
延べ件数	91件	92件	87件

緩和ケア専門外来への依頼内容

疼痛 100%

(3) 苦痛のスクリーニング実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
病棟	427件	484件	518件
外来	827件	865件	642件
合計	1254件	1349件	1160件

2 成果

- ・緩和ケアリンクナース会を中心に、苦痛のスクリーニングを全てのがん患者を対象に実施する体制を整備し、令和4年度は特に緊急入院患者へのスクリーニング実施を強化した結果、緩和ケアチームの介入件数の大幅な増加に繋がった。
- ・入院中の患者への緩和ケアについて、多職種で目標設定及びケアについてのカンファレンスの実施を勧奨し、チーム医療での緩和ケアを提供した。

- ・外来化学療法室、放射線治療室と緩和ケアチームが情報を共有し、治療に応じた緩和ケアを提供した。
- ・緩和ケアの質の向上のため、緩和ケア研修会を令和4年12月に開催した。
- ・連携病院と協働し、地域の医療・介護福祉職を対象に「みんなの緩和ケア勉強会」を令和4年12月に実施し、地域における緩和ケアの啓発・普及を行った。

3 課題

- ・緩和ケアリンクナースの活動を中心に、病院全体で質の高い基本的緩和ケアの提供を維持・向上できるよう、継続的に取り組む。
- ・苦痛のスクリーニングの運用の定着や実施の促進を図り、専門的緩和ケアの必要な対象の早期抽出に努める。
- ・緩和ケア専門外来の対応件数が減少傾向となっており、外来通院中のがん患者の苦痛への対応をより拡充できるよう、緩和ケア専門外来の活用を勧奨・啓発する。
- ・連携する地域の医療機関との緊密な情報連携を通して、患者への切れ目のない医療の提供を目指す。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により他院との交流機会が減少した状況は続いており、地域を交えた交流の機会として、緩和ケアに関する研修・勉強会や講習会は継続的に企画・運営する。
- ・緩和ケアに関する研修会、講演会、勉強会等の開催を通し、緩和ケアの啓発普及に引き続き貢献する。
- ・令和3年1月から新型コロナウイルス感染症対応を優先するため、緩和ケア病棟の25床を休床している。今後は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、緩和ケア病棟の再開に向けた検討を行う。

2-7 アレルギー疾患医療

1 データ（令和元年度～令和4年度比較）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外来アレルギー患者数（延べ数）	23,684人	21,600人	20,128人	20,514人
呼気一酸化窒素測定	3,292件	1,958件	1,530件	1,904件
気道過敏性試験	55件	0件*	0件*	0件*
プリックテスト	173件	215件	152件	119件
エピペン処方数	302件	547件	528件	582件
喘息カンファレンス	6回	0回*	0回*	6回
食物・薬物アレルギーカンファレンス	5回	0回*	2回	6回
食物アレルギー研修	62回	21回	63回	51回
講演会	1回	1回	1回	1回
みなとセミナー	1回	1回	1回	1回
市民フォーラム	1回	0回*	1回	1回
患者教室	10回	0回*	8回	8回
小児喘息キャンプ	1回	0回*	0回*	0回*
誌上発表	23件	23件	14件	7件
学会発表	42件	29件	27件	13件
新薬開発治験	10件	8件	5件	5件
自主臨床試験	7件	7件	1件	4件

* 新型コロナウイルス感染予防のため中止

2 成果

COVID-19 禍で、「ヒト」同士が近接する状況を避けられない診療上の検査や相談・情報提供、啓発活動は極力リモートで実施あるいは中止とし、近接とはいえない環境での必要最低限の診療行為や事業については実施した。保育所や学校等の職員に対する食物アレルギー指導研修業務の拡大のために、アレルギー専門小児科医師4名の協力を確保し、依頼元からの要望に柔軟に対応した。アレルギーセンターホームページの充実を図っている。

臨床研究については、継続中の ARMS 研究（遠隔医療）と EARTH 研究（環境アレルギー）の組み合わせによる「個別喘息予報」を平成28年度より配信開始し、患者の個別データをさらに活用できるよう取組を進めている。

地域医療連携についても重症喘息への対応や増加傾向の花粉症に対する舌下免疫療法等を目的とした病診連携の再開を計画中である。

平成30年10月に選定された神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院として、神奈川県および川崎市からのアレルギー疾患政策医療への協力要請にも対応している。

3 課題

日本専門医機構の新専門医制度では、未だアレルギー専門医の認定が始まっていないが、引き続きアレルギー科、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科、リウマチ内科のアレルギー専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医の確保と育成に努めることにより市民の需要に応じていく。

以前に設置済の大型アレルギー検査機器の本格稼働に向けて準備中である。

2-8 障害児者合併症医療

1 データ

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
入院患者延べ人数	158名	51名	37名	292名
入院患者実人数	10名	4名	4名	9名
1患者あたり 入院回数	1～8回	1～4回	1～4回	1～3回
年 齢	2～28歳	6～29歳	7～30歳	3～31歳
メディカルショート ステイ利用者数	19名	3名	5名	4名
障害児者委員会	年3回 開催	年3回 開催	年2回 開催	年2回 開催

2 成果

当院において行われる障害児者への医療提供が円滑に行われることを目的とし、障害児者医療検討委員会を開催し、その内容を検討した。

また、重度心身障害児者の理解を深めるため、障害児者医療検討委員会発信で、メディカルショートステイについてのポスターを作成し、広報活動を行った。

3 現状と課題

障害児者医療への職員の研修啓発に努めるとともに、地域の障害児者医療を担う医療機関との連携を図りながら、横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの協力病院として対象患者の受入れを継続する。

また、旧港湾病院から引継ぎの障害児者が長期に入院をしており、引き続き療養を行う。

2-9 災害時医療

1 救護活動等の状況

(1) 医療救護班の派遣状況

ア 横浜市災害医療アドバイザー

横浜市新型コロナウイルス対策医療調整本部（Y-CERT）へ横浜市災害医療アドバイザー1名を随時派遣。

イ 横浜救急医療チーム（YMAT）の出動状況

横浜市内の救急・事故事案等に13件出動

(2) 災害救護に関する訓練・研修会等への実施・参加状況

開催日	訓練・研修会	会場	参加者
5/19(木)	NBC 災害・防護具着脱研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部 14 名、(スタッフ) 看護部 1 名
5/25(水)	NBC 災害・防護具着脱研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部 13 名、(スタッフ) 看護部 2 名
6/13(月)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課 2 名、調度課 2 名、救急災害業務課 1 名、(スタッフ) 救急災害業務課 1 名
6/16(木)	赤十字救護班主事基礎研修会 I	日本赤十字社神奈川県支部	薬剤部 2 名、医療社会事業課 1 名、企画情報課 1 名、医事課 2 名、総務課 1 名、人材開発課 1 名、健診課 1 名、(スタッフ) 救急災害業務課 1 名
6/25(土)～26(日)	救護員としての赤十字看護師養成研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部 20 名、(スタッフ) 看護部 5 名
7/9(土)～10(日)	DMAT 技能維持研修	東京流通センター・オンライン	集中治療部医師 1 名、看護部 3 名
7/12(火)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	健診課 3 名、医療連携課 1 名、医療社会事業課 1 名、企画情報課 2 名
7/13(水)	赤十字救護班主事基礎研修会 II	日本赤十字社神奈川県支部	薬剤部 2 名、医療社会事業課 1 名、企画情報課 1 名、医事課 2 名、総務課 1 名、人材開発課 1 名、健診課 1 名、(スタッフ) 救急災害業務課 2 名、調度課 1 名
7/16(土)～17(日)	救護員としての赤十字看護師養成研修フォローアップ研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部 6 名、(スタッフ) 5 名
7/30(土)	新型コロナウイルス医療従事者養成研修	横浜市立大学附属病院	集中治療部医師 2 名、看護部 1 名、臨床工学部 1 名
8/12(金)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	救急災害業務課 2 名
8/30(火)	神奈川県原子力災害医療基礎研修	オンライン	会計課 1 名、調度課 1 名、救急災害業務課 1 名
9/10(土)～11(日)	日赤災害医療コーディネーター研修会指導スタッフ研修会	日本赤十字社本社	救急部医師 1 名
9/13(火)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課 1 名、医療連携課 1 名、救急災害業務課 1 名
9/17(土)～18(日)	関東ブロック DMAT 訓練	茨城県小山記念病委員	集中治療部医師 1 名、看護部 2 名、調度課 1 名、施設課 1 名
9/21(水)	DMAT 技能維持研修	東京流通センター・オンライン	調度課 1 名
9/25(日)	放射線テロ・災害及び核テロ・災害対策担当者養成医療講習会	オンライン	救急部医師 1 名
10/1(土)	大規模地震時医療活動訓練	静岡県・愛知県	(スタッフ) 救急部医師 1 名、集中治療部医師 1 名
10/12(水)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課 1 名、救急災害業務課 1 名
10/16(日)	ビッグレスキューかながわ	南郷上ノ山公園	救急部医師 2 名、集中治療部医師 1 名、看護部 2 名、施設課 1 名、救急災害業務課 1 名
10/22(土)～23(日)	救護員としての赤十字看護師養成研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部 20 名、(スタッフ) 看護部 5 名

10/27(木)	航空機事故対処総合訓練	東京国際空港	救急部医師2名、集中治療部医師1名、看護部3名、企画情報課2名、救急災害業務課1名
10/30(日)	横浜マラソン(臨時救護)	パシフィコ横浜	救急部医師2名、看護部1名
11/5(土)~6(日)	かながわDPAT養成研修	神奈川県精神医療保健センター・オンライン	看護部2名
11/7(月)	EMIS オンライン研修会	オンライン	救急災害業務課1名
11/11(金)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなの赤十字病院	品質管理室1名、医療社会事業課1名、調度課1名、救急災害業務課1名
11/17(木)	災害時医療救護活動研修会	オンライン	救急災害業務課1名
11/19(土)~20(日)	日本赤十字社第2ブロック支部総合訓練	秦野赤十字病院ほか	集中治療部医師1名、看護部3名、会計課1名、人材開発課1名薬剤部1名(スタッフ)救急部医師1名。集中治療部医師1名、看護部2名、施設課1名、救急災害業務課2名、調度課1名
11/21(月)	DMAT 広域搬送実機研修	陸上自衛隊相馬原駐屯地	救急部医師1名、集中治療部医師1名、看護部2名、調度課1名
11/28(月)	救護員としての赤十字看護師養成研修I	日本赤十字社神奈川県支部・オンライン	看護部12名、(スタッフ)看護部2名
12/12(月)	救護活動用車両安全運転研修会	伊勢原自動車学校	リハビリテーション部1名、企画情報課1名、総務課1名、人材開発課1名、(スタッフ)救急災害業務課1名
12/14(水)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなの赤十字病院	看護部1名、医療社会事業課1名、医事課1名、救急災害業務課1名
1/12(木)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなの赤十字病院	品質管理室1名、医療社会事業課2名、調度課1名
1/17(火)~20(金)	DMAT 隊員養成研修会	静岡県サウランシティ浜松ほか	救急部医師1名
1/28(土)	横浜市立みなの赤十字病院総合防災訓練	横浜市立みなの赤十字病院	医師24名、看護部46名、メディカルスタッフ4名、事務94名、ボランティア58名
2/12(日)	新型コロナウイルス医療従事者応用養成研修	横浜市立大学附属市民総合医療センター	集中治療部医師2名、看護部1名、臨床工学部1名
2/13(月)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなの赤十字病院	医療社会事業課3名、企画情報課1名
2/15(水)	こころのケア研修会	日本赤十字社神奈川県支部	看護部7名、(スタッフ)看護部2名
2/24(金)~25(土)	DMAT-L 隊員養成研修	神奈川県立衛生看護専門学校	集中治療部医師1名、看護部1名、救急災害業務課1名、(スタッフ)救急部医師1名、集中治療部医師1名、看護部1名
3/10(金)	神奈川県災害時通信訓練	横浜市立みなの赤十字病院	医療社会事業課1名、看護部1名
3/23(木)	DMAT 技能維持研修	東京流通センター・オンライン	看護部1名

(3) 救護体制及び主要資機材

ア 医療救護班

- ・ 救護班7班(医師7名、看護師21名、薬剤師7名、主事14名)
- ・ 日本DMAT 3チーム^{注1}(医師3名、看護師7名、業務調整員3名)
- ・ 神奈川DMAT-L 3チーム^{注2}(医師4名、看護師4名、業務調整員7名)
- ・ かながわDPAT(神奈川県災害派遣精神医療チーム) 隊員12名(医師1名、看護師6名、業務調整員5名)
- ・ YMAT(横浜救急医療チーム) 隊員27名(医師13名、看護師14名)

※注1: 日本DMATのチーム数は、日本DMAT活動要領の「DMAT1隊の構成は、医師1名、看護師2名、業務調整員1名の4名」に基づき、同時に編成が可能なチーム数。

※注2: 神奈川DMAT-Lのチーム数は、神奈川DMAT-L運営要綱の「医師、看護師、業務調整員からなる1チーム5人編成を基本とする。」に基づき、各職種最低1名以上で同時に編成が可能なチーム数。

イ 救護資機材等

救急車2台、医師派遣用緊急車両3台、救護班用医療セット1式、DMAT標準医療資機材1式、YMAT資機材1式、日赤業務無線機等22台、神奈川県MCA無線1台、横浜市MCA無線1台、衛星電話1台（庁舎設置）、衛星携帯電話2台、（可搬型1台、救急車積載1台）、デジタル個人線量計28台、簡易ベッド540台、NBC災害除染セット1式、ドラッシュテント1式、エアーテント1式、イージーアップテント5式、発動発電機7台、大容量ポータブル蓄電池2台、災害用マンホールトイレ2基、下水直結型災害用トイレ5基、患者用非常食3日分、職員用非常食3日分

2 成果

- ・災害に係る各種隊員養成研修の開催が徐々に再開され、日本DMAT、神奈川DMAT-L、かながわDPAT、YMAT（横浜救急医療チーム）の隊員を増員することができ、災害や救急への対応がより強固となった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の工夫を施し、災害に係る訓練や研修会が徐々に再開され、災害時に必要な技能の維持や新しい知識などを習得することができた。

3 課題

災害時に関係機関が連携して活動するためには、日頃から顔の見える関係を築いておくことが重要と言われている。

当院でも関係機関との訓練、研修、会議等を通じ、日頃から地域の関係者と顔の見える関係を構築し、災害時には災害拠点病院としての機能を発揮して地域の災害医療の貢献できるよう取り組んできた。

新型コロナウイルス感染症対策と並行して、いかに地域や機関と連携をしていくか、また、人材の育成や技能の維持向上について関係機関と共に検討する。

2-10 市民の健康危機への対応

1 データ・成果

(1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応

横浜市立病院として高度医療機関、協力病院の指定のもと、市中発症の新型コロナウイルス感染症の患者対応を行った。

また、横浜市より依頼を受け帰国者・接触者外来を継続した。

入院患者の受入れにあたっては、重症患者、中等症患者の入院受け入れを行い、市内の流行状況に合わせて最大ICU・HCUで12床、呼吸器病棟（6B病棟）で25床の対応病床を用意した。また周産期（5C病棟）病床を2床、小児（5D病棟）病床を1床確保し、受け入れを行った。

院内のCOVID-19によるクラスター発生にも対応した。

※データは、3-1 新型コロナウイルス感染症への対応 を参照。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスワクチン接種を職員へ実施した。

(3) 新型インフルエンザ等対策等

抗インフルエンザ薬について、院内での抗インフルエンザ薬使用状況を考慮し、薬剤ごとの備蓄割合（薬局備蓄含む）を再検討した。

2 課題

新型コロナウイルス感染症対応は、神奈川県対策本部からの指示に基づき、流行状況を加味したフェーズに応じて、病床数を変化させて患者を受け入れている。今後5類感染症への変更を見据えた対応変更を検討しており、これに伴う感染拡大の影響に適宜対応していく必要がある。

新型インフルエンザ等対策訓練等については、横浜市新型インフルエンザ等対策医療関係者連絡協議会等と連携して、必要に応じて資器材・抗インフルエンザ薬の整備・備蓄を進める。

3 指定管理者独自の取組

3-1 新型コロナウイルス感染症への対応

1 データ

令和4年度の新型コロナウイルス感染症関連の入院患者は、累計で529人（陽性490人、陰性39人）（令和4年4月1日～令和5年3月31日）だった。

ICU・HCU病棟で重症患者、呼吸器内科病棟等で中等症患者を主に受け入れており、神奈川県病床確保フェーズに合わせて確保病床数を変更した。

医師については、感染症専門医のフォローを受けながら、救急部、集中治療部、呼吸器内科等の医師が診療を行った。

看護師については、感染管理認定看護師のフォローを受けながら、6B病棟、ICU病棟等の看護師が対応にあたった。

令和4年度は14,757台の救急車を受入れ、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加した第7・8波の際も、新型コロナウイルス感染症関連患者の救急受入れを積極的に行った。

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した状況でも、より多くの救急患者を適切に受入れるために救急外来環境改善工事を計画し、工事に関する入札を9月に行ったが不調となった。2回目の入札に向けた準備を進めていく。

	重症			中等症			合計		
	陽性	陰性	合計	陽性	陰性	合計	陽性	陰性	合計
令和4年4月	5	0	5	8	9	17	13	9	22
5月	0	0	0	9	10	19	9	10	19
6月	1	0	1	7	5	12	8	5	13
7月	6	0	6	64	6	70	70	6	76
8月	13	1	14	80	1	81	93	2	95
9月	5	0	5	37	2	39	42	2	44
10月	3	0	3	14	0	14	17	0	17
11月	8	0	8	28	1	29	36	1	37
12月	14	0	14	81	0	81	95	0	95
令和5年1月	10	2	12	75	0	75	85	2	87
2月	2	0	2	16	1	17	18	1	19
3月	1	0	1	3	1	4	4	1	5
合計	68	3	71	422	36	458	490	39	529

※陰性は疑いも含む

【新型コロナウイルス感染症第8波での救急車応需状況】

	令和4年 11月	令和4年 12月	令和5年 1月	令和5年 2月	合計
ホットライン要請件数	1,263	1,902	1,637	1,069	5,871
応需件数	1,182	1,551	1,297	1,024	5,054
不応需件数	81	351	340	45	817
一般救急	20	143	242	45	450
COVID-19 関連	61	208	98	0	367
不応需率	6.4%	18.4%	20.8%	4.2%	13.9%
一般救急	1.6%	7.5%	14.8%	4.2%	7.7%
COVID-19 関連	4.8%	10.9%	6.0%	0.0%	6.2%

2 成果

コロナ禍であっても、『重症度に関わらず救急患者を受け入れる「断らない救急」を実践し、地域医療に貢献する』の理念を基に、新型コロナウイルス感染症の対応と並行して、通常の救急患者の受入についても積極的に行った。

横浜市の医療調整本部（Y-CERT）へ医師を派遣するなど地域の新型コロナウイルスの感染症対策に引き続き参画したほか、新型コロナウイルスの感染症の対応を検討する院内会議を定期的に関き、県内の新型コロナウイルス感染状況に合わせて病院の対応方針を適宜見直して対応にあたった。

3 課題

新型コロナウイルス感染症が5類に変更後の対応や病床の確保と同時に、通常の患者を可能な限り断らないで受け入れるための一般病床の確保と調整について継続して検討する。

災害時に患者を病院へ受け入れる際の、エリアの区分、動線など、新型コロナウイルス感染症をはじめ感染症に対応した患者の受け入れ態勢の見直しを行う。

3-2 卒後臨床研修評価機構（JCEP）による臨床研修評価

1 概要

臨床研修病院として、客観的な第三者評価をいただくことでこれまでの臨床研修を振り返り、より良い臨床研修を目指すことを目的として、令和4年度に卒後臨床研修評価機構（JCEP）による臨床研修評価を受審した。

※卒後臨床研修評価機構（JCEP）

国民に対する医療の質の改善と向上を目指すため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行い、公益の増進に寄与することを目的として設立されたNPO法人。

※評価基準

大項目	評価の対象領域
Pg.1	臨床研修病院としての役割と理念・基本方針
Pg.2	臨床研修病院としての研修体制の確立
Pg.3	臨床研修病院としての教育研修環境の整備
Pg.4	研修医の採用・修了と組織的な位置付け
Pg.5	研修プログラムの確立とその実践
Pg.6	研修医の評価
Pg.7	研修医の指導體制の確立
Pg.8	修了後の進路項目

2 成果

令和5年1月12日に書面調査関係書類を提出し、令和5年2月7日に訪問調査を受審した。調査内容については、令和5年4月21日にJCEPにおける評価委員会で審議をされ、令和5年5月1日付でJCEP認定病院に認定された。

3 課題

JCEPによる臨床研修評価にて検討を勧められた項目を研修プログラムに反映し、臨床研修病院としての更なる質の向上を目指す。

項目としては、臨床病理検討会（CPC）と剖検への研修医の主体的な取り組み、教育シミュレーターの積極的な活用、臨床研修協力施設における研修プログラムの把握と評価、研修医の360度評価の実践、指導医評価の充実、指導者評価の導入などが挙げられる。

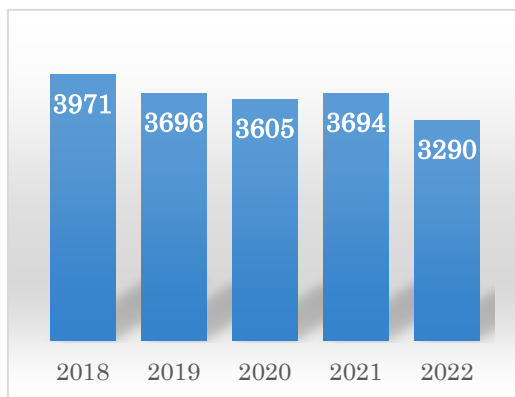
4 地域医療の質の 向上に向けた取組

4-1 医療における安全管理（安全）

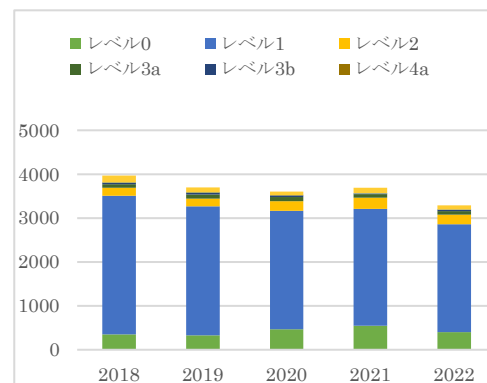
1 データ

- ・令和4年度インシデントレポート報告件数は3,290件であった。
- ・令和4年度全職員対象安全研修会は、第1回は電子カルテにより12月から1月にかけて、第2回は職種別にe-learningにより2月に開催した。参加率は、それぞれ100%と99.7%であった。
- ・医療職対象医薬品医療機器安全講演会を1月に実施。電子カルテを使用して資料を周知した。
- ・新任RM対象の安全研修会を全8回開催した。
- ・医療安全管理委員会とRM委員会は、毎月開催した。
- ・RM委員会の中で、医療機器安全管理者や薬剤師、理学療法士、国際医療部部長によるミニレクチャーを適宜開催した。
- ・院外の安全ニュースを院内発生に関連事例と絡めて委員会で共有した。

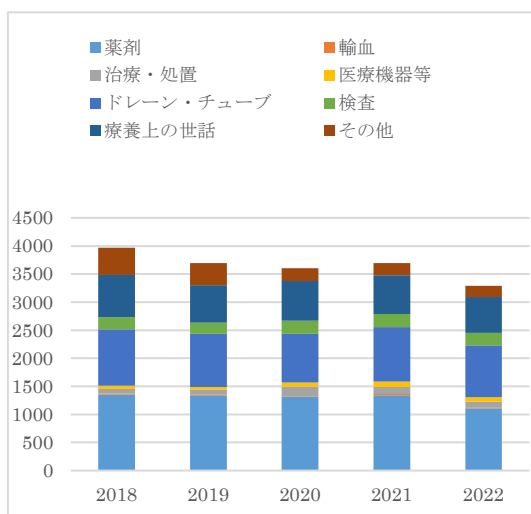
■ 年度別総報告数



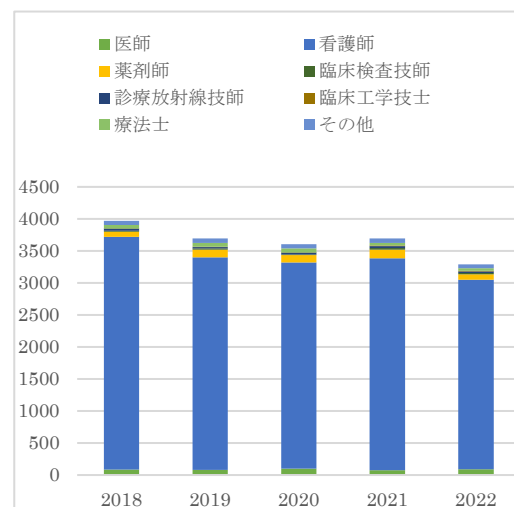
■ レベル別報告



■ 項目別報告数



■ 職種別報告



・内視鏡検査・治療について

- (1) 令和4年度の重症症例についての報告件数は0件であった。
重症症例については、内視鏡運営委員会において定期的に報告、検討されている。
- (2) 令和4年度（研修実績）
2月に急変時対応トレーニングを開催した。

2 成果

- (1) 病院機能評価を受審し認定された。
- (2) 年間報告件数が前年度と比較し減少したが、レベル3b以上は増加しており報告すべき事例の取りこぼしはなかった。また、医師の報告数は15件増加し、特にレベル2が増加した。
- (3) 年間報告数において全項目が減少しているが、薬剤関連の報告は大きく減少した。
- (4) 安全管理マニュアルを令和4年4月に改訂した。
- (5) 職員への教育計画を予定通り実施した。
- (6) 令和4年8月 市立3病院医療安全報告会は、感染対策上メール審議とし、安全管理の委員会の活動状況、安全管理研修等の開催状況、インシデント報告の状況等を報告し、共有した。
- (7) せん妄のアセスメント・介入フローを導入し、せん妄ハイリスク加算算定の増加につながった。
- (8) 手術時の部位間違い防止対策として全診療科でマーキングを導入した。
- (9) 説明・同意書のあり方改善検討ワーキンググループを立ち上げ、共通書式や同意取得の方法の改訂を行った。
- (10) 重症患者対応チームを立ち上げ活動を開始した。
- (11) CVCチームを立ち上げ、ライセンス制度の管理と教育内容について見直しを始めた。
- (12) 放射線、病理レポート未読防止対策として報告書管理チームを立ち上げ、未読レポートに対してアラートを発出する活動を開始した。
- (13) 与薬・転倒転落に関する定期調査を実施した。

3 課題

- (1) CVC 技術認定制度管理の見直し
- (2) 報告書未読対策
- (3) RRS の推進
- (4) インシデント・アクシデントレポートの医師提出数増加
- (5) 講演会への参加率向上
- (6) ポケットマニュアルの改訂と活用推進の推進
- (7) 患者誤認防止活動継続
- (8) 転倒・転落対策の推進
- (9) せん妄対策

4-2 医療における安全管理（感染）

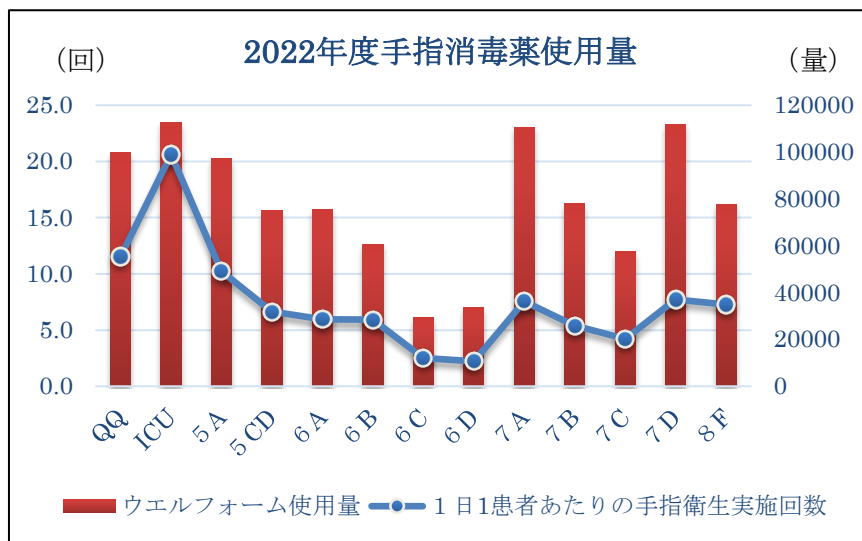
1 データ

(1) 抗菌薬適正使用支援チーム



・受託、一部受託を合わせて約84%であった

(2) 手指衛生サーベイランス



(3) 職員対象感染研修会実施状況

	第1回(8月)	第2回(1月)
テーマ	With コロナ時代の感染対策	AST活動の紹介・正しい消毒薬の使い方
受講率	100%	100%

(4) ICT環境ラウンド52回/年実施

2 成果

(1) 平時の感染管理

- ・感染制御チームによるラウンドを1回/週、計画通りに実施した。部署の問題点を明らかにし、改善に向け取り組むことができた。
- ・感染流行状況や予防に関する情報を「ICTNews」として定期的に（3回/年）発信した。

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・感染拡大防止のため、最新の知見に基づきタイムリーにマニュアルを変更した。
- ・看護師・メディカルスタッフ・委託職員などあらゆる職種を対象に防護具着脱訓練を行った。

(3) サーベイランス

- ・JANIS 検査部門サーベイランスに参加できた。感染症発生動向を監視し耐性菌検出時は、タイムリーに現場の感染対策を確認できており、アウトブレイクを起こさなかった。
- ・医療器具関連感染サーベイランス（SSI・CLABSI・CAUTI）を実施し、日常的な感染症の発生状況を把握することができた。ベンチマークデータを他施設と比較し感染対策の改善に向けて活動した。

(4) 地域連携

- ・感染対策向上加算Ⅱ・Ⅲ、外来感染対策向上加算連携施設と4回/年の合同カンファレンスを実施し感染症におけるトピックスを連携施設へ情報提供することができた。また、新興感染症を想定したレクチャーとして防護具着脱訓練を行った。
- ・連携施設へ現地訪問し、感染対策ラウンドを実施した。連携施設が抱える感染対策上の問題点について検討し改善につなげることができた。
- ・同規模病院と相互ラウンドを行い自施設の感染対策を見直す機会とした。

(5) 抗菌薬適正使用支援チーム

- ・今年度からASTによるVCMのTDM管理を開始し、VCM注射薬のオーダーや採血オーダーをASTで対応した。

3 課題

- (1) サーベイランスやICT環境ラウンドの結果が感染対策上の問題点の改善につながるようデータ分析を行い、感染対策の質向上に努める。
- (2) 標準予防策・感染経路別予防策周知徹底のため職員教育を継続して行う。
- (3) 地域連携を継続して行い、地域の感染管理活動に貢献する。
- (4) 薬剤耐性(AMR)アクションプラン（2023-2027）に向け、目標値を設定し活動していく。

4-3 医療倫理に基づく医療の提供

1 データ

令和2年度・令和3年度 医療倫理委員会実績

	令和2年度	令和3年度
承認件数	89件	61件
開催回数 開催日等 (参加人数)	第1回 6月30日～7月10日 第2回 8月28日～9月8日 第3回 10月30日～11月11日 第4回 12月28日～1月15日 第5回 2月25日～3月11日 ※全て文書審議にて開催	第1回 4月30日～5月14日 第2回 6月11日～6月23日 第3回 10月1日～10月15日 第4回 12月3日～12月17日 第5回 2月4日～2月18日 ※全て文書審議にて開催

令和4年度医療倫理委員会実績 承認件数 80件

開催日 (参加人数)	NO	議題	結果
第1回医療倫理委員会 5月6日 ～5月20日 (文書審議)	1	生命予後に関わる処置(輸血)を拒否しているが、説明内容の確認書に署名しないことについて	承認
	2	経皮的僧帽弁接合不全修復システム	承認
	3	TAFRO症候群に対するリツキシマブの使用について	承認
	4	2型糖尿病と25ヒドロキシビタミンD(25OHD)の関連性の検討	承認
	5	2型糖尿病患者におけるセマグルチド導入症例の検討	承認
	6	医療用医薬品における添付文書の電子化の影響に関するアンケート調査	承認
	7	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究(2/4承認分)	承認
	8	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究(3/14承認分)	承認
	9	StageⅢ大腸癌治癒切除例に対する術後SOX療法の投与量および治療スケジュール最適化のための探索的ランダム化比較第Ⅱ相試験(定期報告)	承認
	10	StageⅢ大腸癌治癒切除例に対する術後SOX療法の投与量および治療スケジュール最適化のための探索的ランダム化比較第Ⅱ相試験(利益相反状況確認報告)	承認

	11	RAS 野生型進行大腸がん患者における FOLFOXIRI+セツキシマブと FOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率 (DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験(JACCRO CC-13)	承認
第2回医療倫理委員会 7月1日 ~7月15日 (文書審議)	12	頭頸部領域の腫瘍及び口腔内腫瘍に対するルゴール3%液の使用について	承認
	13	皮膚筋炎性間質性肺炎に対するリツキシマブの使用について	承認
	14	複数生物学的製剤使用環境下における重症喘息前向きコホート研究 PROSPECT 研究	承認
	15	性分化疾患・性成熟疾患・生殖機能障害における遺伝的原因の探索	承認
	16	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究	承認
第3回医療倫理委員会 9月2日 ~9月16日 (文書審議)	17	クライオバルーンを用いたカテーテルアブレーションの有効性及び安全性に関する観察研究	承認
	18	重症 COVID-19 患者の栄養管理の実際	承認
	19	保育士等キャリアアップ研修受講者を対象としたアレルギー研修受講の機会と疾患認識の調査	承認
	20	気管支喘息患児における新型コロナウイルス流行と増悪の関連	承認
	21	人間ドックの標準項目である腹部超音波検査に腹部MRI 検査を追加する意義はあるか?	承認
	22	人間ドック受診者を対象としたヘルシーランチの提供及び満足度調査	承認
	23	トラスツズマブ・エムタンシンによる肝機能低下と血小板数減少のリスク因子の探索	承認
	24	慢性腎臓病の保存期にある人が療養法を生活に取り入れていく体験	承認
	25	脳動脈瘤治療における直達手術、血管内治療のそれぞれの侵襲に関する検討	承認
	26	EFAT-2 の日本語版作成と信頼性及び妥当性についての検討	承認
	27	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究 (5/13 承認分)	承認
	28	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究 (6/3 承認分)	承認
	29	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究 (7/8 承認分)	承認

	30	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究（利益相反状況の報告）	承認
第4回医療倫理委員会 10月21日 ～11月4日 (文書審議)	31	脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻に対する経動脈塞栓術（Onyx 使用）	承認
	32	非イオン性ヨード造影剤によるアレルギー様反応回避のための予防薬の有用性評価とその発現要因の探索	承認
	33	口腔乾燥感を有する患者に対する口腔湿潤ジェル：キユオムウェットプラスの効果に関する研究	承認
	34	S状結腸軸捻転における再発率に寄与する因子の検討	承認
	35	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者に対する集中治療室での薬剤師による薬学的介入の解析	承認
	36	頸椎人工椎間板置換術手術のデータベース構築に関する研究	承認
	37	卵黄による食物蛋白誘発胃腸炎の実態調査	承認
	38	POLARxTM 心臓冷凍バルーンアブレーションシステム 市販後臨床研究 POLAR SMART	承認
	39	アナフィラキシー症状による血中 IgE 抗体価への影響の検討	承認
	40	患者レジストリによる脊椎インストゥルメンテーション手術患者の登録調査	承認
	41	同時多項目アレルギー検査用体外診断用医薬品の開発	承認
	42	Retrograde fast pathway cryoablation inside the coronary sinus for slow-fast atrioventricular nodal reentrant tachycardia in a patient with persistent left superior vena cavam persistent left superior vena cava	承認
	43	間質性肺炎患者における経過の解析と疾患関連遺伝子の探索	承認
	44	日本人における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する重症化因子の探索 ―多施設共同後ろ向き観察研究―	承認
	45	脳動脈瘤治療における直達手術、血管内治療のそれぞれの侵襲に関する検討	承認
	46	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認
	47	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認
	48	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認
	49	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認
	50	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認

	51	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究（8/5 承認分）	承認
	52	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究（9/2 承認分）	承認
	53	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究（10/7 承認分）	承認
	54	RAS 野生型進行大腸癌患者における FOLFOXIRI+セツキシマブと FOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率（DpR）を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験	承認
第5回医療倫理委員会 12月16日 ～1月5日 (文書審議)	55	卵黄による Acute food protein induced enterocolitis syndrome (Acute FPIES)の経口食物負荷試験における至適負荷量および判定基準の検討	承認
	56	持続性心房細動アブレーションにおける経験的左房後壁隔離の妥当性を検証する前向き多施設無作為化研究	承認
	57	非糖尿病性低血糖症における原因及び予後因子の検討	承認
	58	糖尿病を有する膵臓癌手術例における術前後のインスリン分泌能の変化及び耐糖能悪化から膵臓癌診断までの期間の検討	承認
	59	直接経口抗凝固薬投与中患者の上部消化管出血に対するプロトンポンプ阻害薬（PPI）の予防効果の検証と上部消化管出血のリスク因子の探索	承認
	60	急性大動脈解離術後周術期におけるサクビトリルバルサルタン投与症例の検討	承認
	61	前庭性片頭痛の臨床的特徴と片頭痛予防薬を含めた薬剤治療効果の検討	承認
	62	肺癌患者における間質性肺炎合併に関する研究	承認
	63	神奈川県内多施設間における脳血管内治療の合理的治療指針確立に資するレジストリ情報統合拠点の構築	承認
	64	人工膝関節置換術後の病棟歩行自立獲得に関わる術前因子の検討	承認
	65	新型コロナウイルス感染症の病態理解と治療法検討のための多施設共同研究	承認
	66	通電後 QRS 波形変化を認めるヒス束近傍特発性心室性不整脈に対する解剖学的アプローチの有効性	承認
	67	脳脊髄腫瘍のバイオマーカーの探索と標的治療開発に向けた遺伝子解析およびヒト由来脳脊髄腫瘍細胞株を用いた前臨床研究	承認
	68	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認

	69	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認
	70	Cryo AF グローバルレジストリ研究	承認
第6回医療倫理委員会 2月17日～3月3日 (文書審議)	71	経皮的僧帽弁接合不全修復システムを用いた僧帽弁閉鎖不全に対する治療介入の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究	承認
	72	外来がん治療における情報提供の実態調査と報告内容に関する検討	承認
	73	当院における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の第 5 波と第 6 波の臨床像の違い	承認
	74	臍頭十二指腸切除の術後体重減少に関わる因子の検討	承認
	75	急性過敏性肺炎患者の CT 画像における線維化進行リスクの検討	承認
	76	乳がん腋窩リンパ節郭清術後患者のリンパ浮腫と身体組成に関する検討	承認
	77	橈骨遠位端骨折患者の作業参加に対する COPM を用いた半構成的面接と自己モニタリングシートの効果	承認
	78	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究 (11/11 承認分)	承認
	79	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究 (12/2 承認分)	承認
	80	関節リウマチを対象とした日常診療科におけるサリルマブの前向き観察研究 (1/13 承認分)	承認

2 成果

- ・全6回の開催が全てメールによる文書審議となった。
- ・例年通りに自主臨床研究審査委員会からの申請が全て報告事項であった場合、メールによる文書審議の形で開催した。
- ・臨床研究法及び院内手順に則り、実施施設にて必要な院長の承認及び報告手続きを行い、管理者に報告した。
- ・臨床倫理委員会規程及び申請フローを見直した。

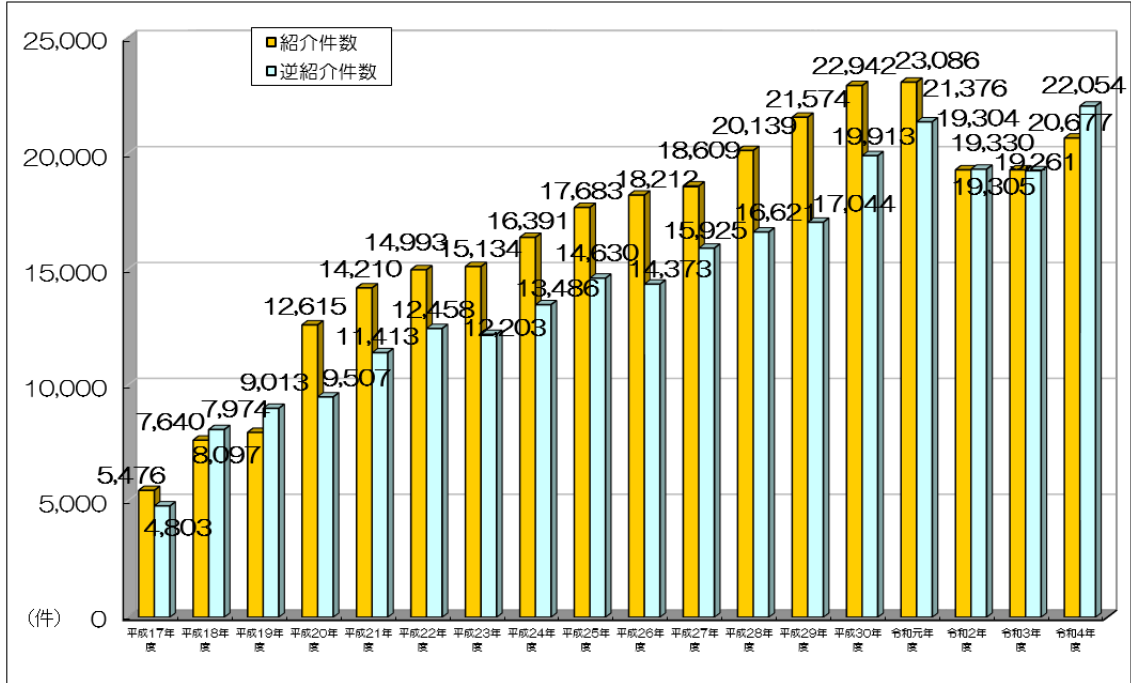
3 課題

- ・自主臨床研究審査委員会及び臨床倫理委員会の申請書、規程等の内容を精査し、必要に応じて改訂する。
- ・患者・家族の倫理的な問題の事例把握が不十分な点。

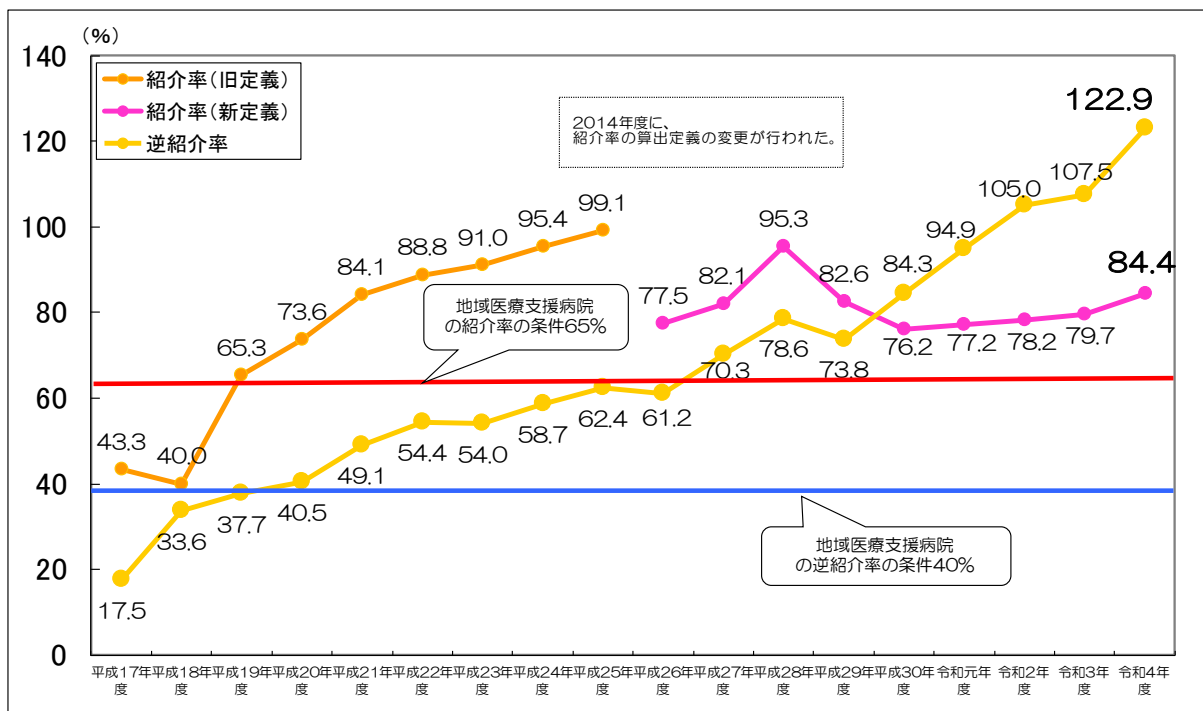
4-4 地域医療機関との連携・支援（医療連携課）

1 データ

紹介件数・逆紹介件数年度推移

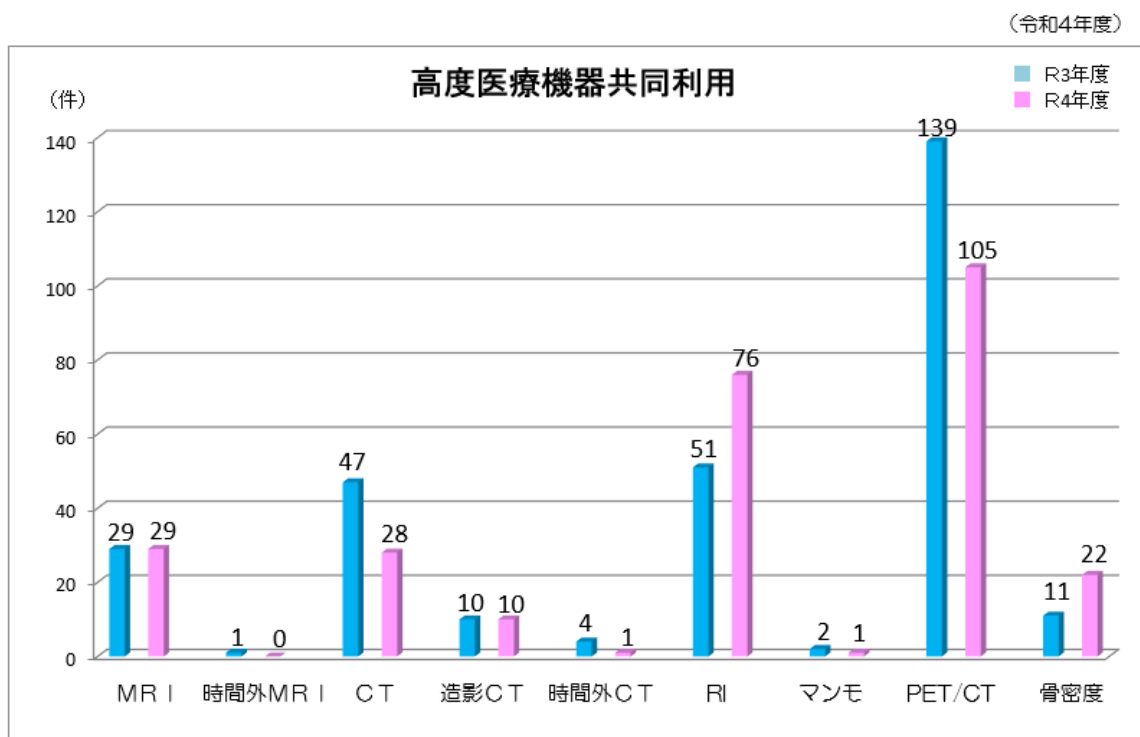
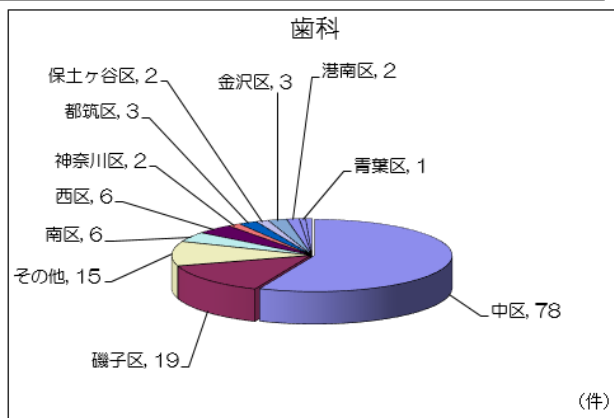
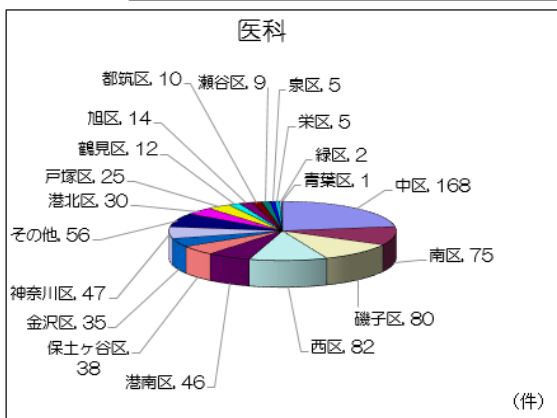
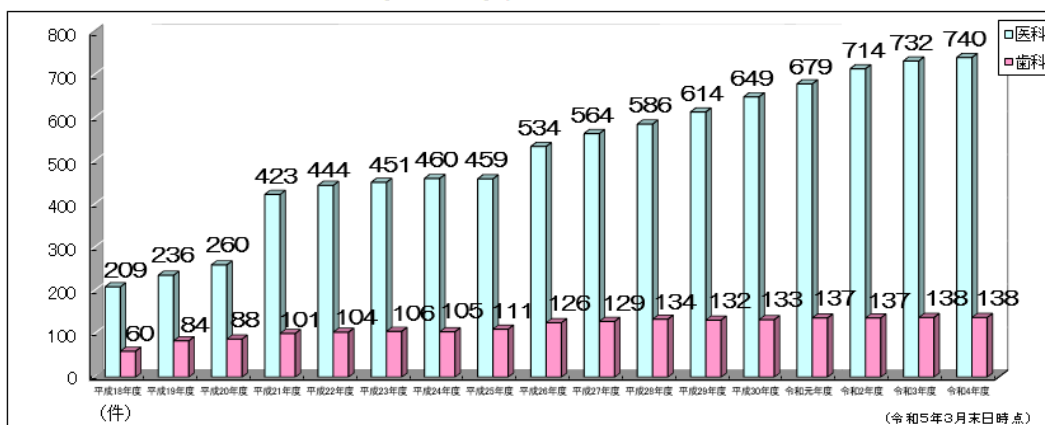


紹介率・逆紹介率年度推移



※医療法に基づく地域医療支援病院の紹介率及び逆紹介率計算方式

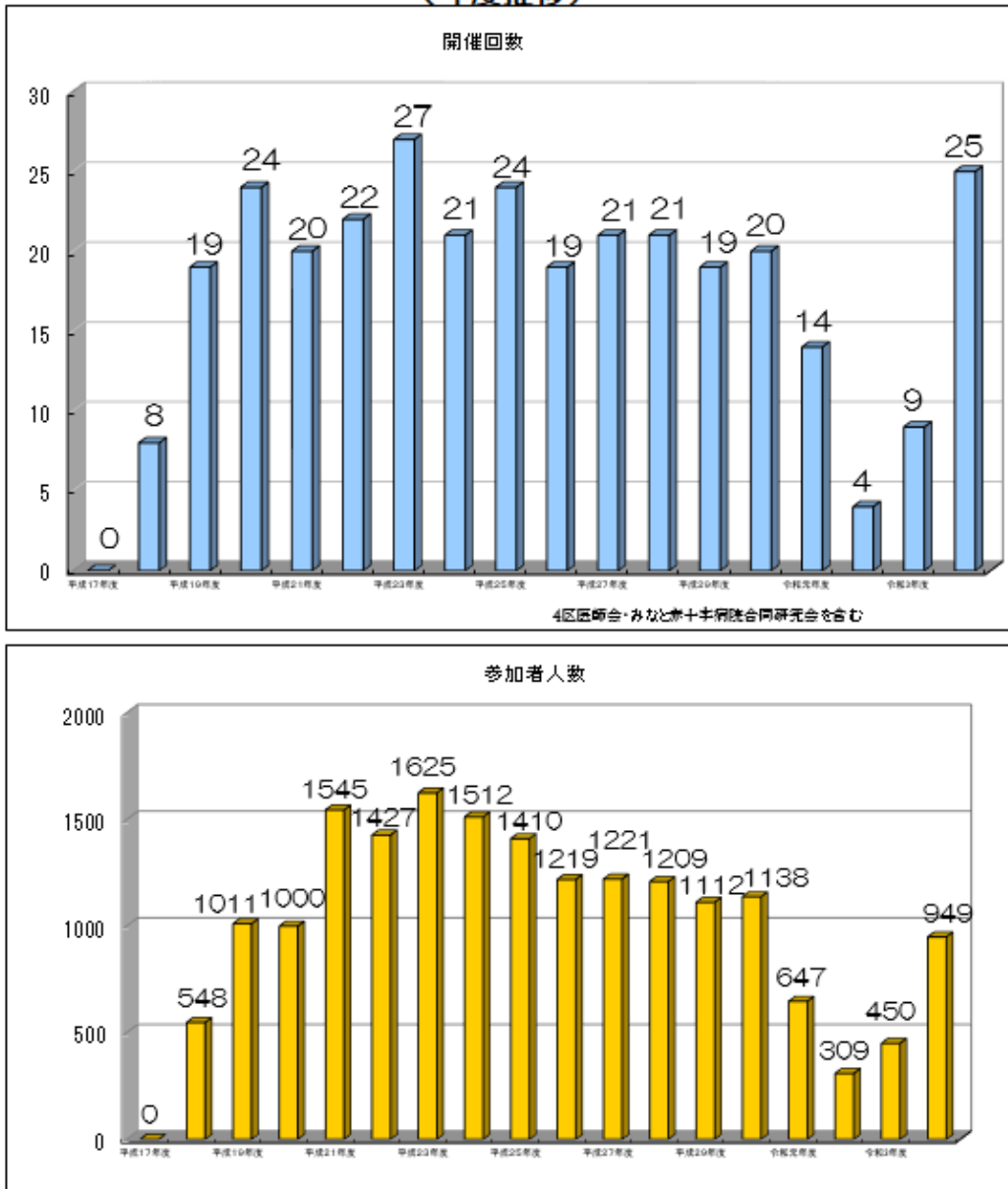
登録医登録状況





地域の医療従事者に対する研修実施状況 (年度推移)

(令和4年度)



2 成果

医療連携課では、地域医療機関の窓口として「顔の見える連携」を心がけ、地域医療機関との医療機能の分担と連携を推進し、紹介・逆紹介の向上に努めた。

新型コロナウイルスの感染が拡大を見せる中であるが、紹介件数は 20,677 件と 20,000 件を超え、コロナ前の令和元年に対し 90%まで回復した。逆紹介 22,054 件は開院以来最高値となった。紹介率・逆紹介率については前年を上回り、地域医療支援病院の指定要件を充たした。

また、地域医療従事者向け研修は、コロナ禍オンライン開催など工夫を凝らし、年間 25 回開催し、地域医療の質向上を図った。

3 課題

今後は地域医療の質向上のため、**With** コロナの連携を考え、地域からの紹介患者の受け入れ、および緊急受診要請への応需など、地域医療支援病院として地域との一層の連携強化が求められている。

また、令和3年度末に放射線科読影医が不在になり、共同利用の利用件数が低下した。地域医療の質向上のためにも、早期の対応を検討する。

今後は、新型コロナウイルス対応の経験を活かし、新興感染症の有無に関わらず、地域医療機関を支援することが課題である。そのため、今後もコロナ禍の、地域との顔の見える関係を模索し、地域医療との連携推進を進めていく必要がある。

4-5 地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室）

1 データ

<相談室業務>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	9,311件	5,682件	5,729件
がん相談件数	3,802件	2,120件	2,080件

<算定件数>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入退院支援加算	6,898件	7,272件	7,763件
介護支援連携指導料	278件	190件	226件
退院時共同指導料2	85件	91件	122件
多機関共同指導加算	19件	25件	45件
大腿骨頸部骨折パス	28件	35件	27件
脳卒中パス	40件	43件	44件
歯科医療機関連携1	163件	113件	76件
歯科医療機関連携2	90件	65件	43件

<地域連携会議>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
横浜脳疾患地域連携懇話会セミナー	開催せず	開催せず	2月9日 (Web)
横浜脳卒中リハ連携研究会	第1回12月2日	第1回6月23日	第1回6月8日
神奈川脳卒中広域シームレス医療研究会セミナー	第1回10月22日	神奈川 STROKESUMMIT として12/19 Web	開催せず
大腿骨頸部骨折地域連携パス合同委員会	文書開催	第1回7月5日 第2回10月25日 第3回令和4年5月16日、17日※	第1回10月20日 第2回1月19日 第3回3月16日
誤嚥性肺炎地域連携パス合同委員会		第1回9月14日 第2回12月2日 第2回3月31日	第1回9月29日 第2回2月1日 第3回3月31日

※新型コロナウイルスの影響により、開催を令和4年度に延期した。

<周術期歯科口腔ケア対象患者数>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
院内歯科	340件	255件	345件
院外歯科	163件	113件	76件

<療養・福祉相談室 主催/共催研修>

10月19日	介護と医療の連携を考える ～よりよい在宅療養支援をめざして part16～	主催
--------	--	----

2 成果

(1) 療養・福祉相談の実績報告 (資料①)

全国赤十字ソーシャルワーカー協議会の通達で集計方法が変更したことで、相談件数とがん相談件数が令和2年度に比べ減少しているが、昨年度からは微増。コロナ禍で入院患者数の減少はあるものの、入退院支援センターと連携し、入院時支援が充実しており、今後も引き続き支援強化に努めたい。

(2) 地域関係機関との取組 (資料②)

- ア 行政機関や在宅介護関係機関の会合、中区区レベル地域ケア会議、「かいごのWā! なか」の会合に参加し、在宅療養支援に関する情報交換及び情報の共有を図った。
- イ 横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムでは行政を通して13件の相談があり、4件受入れを行った。
- ウ 全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会主催の総会や研修会にオンラインで参加した。
- エ 精神科医療に関する活動として、中区障がい者自立支援部議会や精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討会に参加し、地域との連携を図った。また、今後もさらに精神科救急医療/身体合併症システムの円滑な運用を継続したい。
- オ 横浜脳卒中・リハ連携研究会 (Y-CIRCLE) に参加した。
- カ 横浜市歯科医師会と連携し、入退院支援センターにおいて昨年より開始している周術期口腔機能管理の定着をはかった。また、地域の歯科医が参加する退院カンファレンスの実施を強化し、在宅医科歯科連携の推進を図った。
- キ みなとセミナー「介護と医療の連携を考える」を開催した。
- ク 横浜市児童虐待防止医療ネットワークに毎年3回参加し、市内小児救急病棟と児童虐待防止に向けた取り組みについて情報交換を行った。
- ケ 院内の多職種チーム (NST・ブレストセンター・緩和ケアチーム・腎チームなど) の活動を、地域の介護・医療関係者に紹介し、研修会などに参加した。また、認定・専門看護師の地域に向けた活動について周知しており、さらに地域貢献に勤めたい。
- コ 病棟・行政と連携したハイリスク妊産婦連携指導料算定のシステムを構築しており、合同カンファレンスを6回33件開催し、算定取得につなげた。

(3) 専門職育成への取組

院外からは、2名の社会福祉学生の実習、10名の看護学生の実習、18名の横浜市医師会ケアマネジャー医療研修、1名の国際医療福祉大学在宅看護学生の実習、1名の神奈川県看護協会相互研修、院内は看護部からクリニカルラダー「退院支援コース」の研修者を19名受け入れた。特にケアマネジャーの研修受け入れは本年度初の試みで、急性期医療の実際を学んでいただける機会となり、今後さらなる連携強化につながることができている。今後も継続して実習受け入れを行っていく。

(4) 専門職としての研鑽

神奈川県看護協会、医療協、神奈川県MSW協会、神奈川県PSW協会やその他自治体主催による各種研修を積極的に受講し、有資格者としての自己研鑽を図った。また、資格の専門性を生かし幅広い活動を通して業務に反映させた。

ア がん相談支援センター相談員研修の(3)を1名受講している。また1名が認定がん専門相談員の資格を有し、継続学習をしている。

3 課題

- (1) 入退院支援マニュアルに沿った療養支援を病院全体で推進し、地域を巻き込みながら老いや病気を抱えた患者や家族に対し、包括的な支援を実施していく。
- (2) 大腿骨頸部骨折地域連携パス／脳卒中地域連携パス／誤嚥性肺炎パスについて引き続き院内外の連携を深め、円滑な運用を進める。
- (3) みなとセミナー「よりよい在宅療養支援をめざして part17」を実施する。
- (4) がん拠点病院に必要とされるがん相談支援センターの体制を強化していく。
- (5) 横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの院内外との連携を進める。
- (6) 各区医師会 在宅医療連携室との連携を推進していく。
- (7) 中区地域包括ケア指針におけるアドバンスト・ケア・プランニングや緩和ケアの推進に向けた取組を医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政、病院、地域の介護・医療関係者などと実施する。
- (8) 看護師の同行訪問や退院後訪問を推進し、地域とともに在宅療養の支援を行う。

資料①

(1)取扱人数

件数	実件数	
年度実件数	5,729 件	
継続実件数	272 件	
新規実件数	入院	4,536 件
	外来、その他	1,193 件
年度延件数	30,011 件	

精神科入院相談件数	277 件
-----------	-------

がん相談	実件数	2,080 件
	延べ件数	5,933 件
	(対面)	4,192 件
	(電話)	1,738 件
	(その他)	3 件

*算定

入退院支援加算1 (700点)	7,763 件
入院時支援加算 (230点)	1,485 件
介護支援連携指導料 (400点)	226 件
退院時共同指導料2 (400点)	122 件
多機関共同指導加算 (2000点)	45 件
保険医共同指導加算 (300点)	6 件
小児加算(入院時支援加算) (800点)	270 件
精神科退院指導料(320点)	75 件

*地域連携バス実施状況

大腿骨頸部骨折バス	27 件
脳卒中バス	44 件
誤嚥性肺炎バス	3 件

(2)新規ケースの紹介経路

区分	実件数
医師	592 件
看護職	4,096 件
リハビリ職	0 件
その他院内職員	48 件
本人	189 件
家族・親戚縁者	151 件
院外関係機関	649 件
医療チーム	1 件
近隣者・知人	3 件
ソーシャルワーカー	0 件
合計	5,728 件

(3)新規ケース介入の時期

区分	実件数
受診前	414 件
外来	770 件
入院前	1,548 件
入院中	2,988 件
その他	9 件

(4)新規ケースの社会的背景

区分	実件数
独居	1,349 件
経済困窮	48 件
家族疎遠・身寄りなし	508 件
ハイリスク妊産婦	22 件
精神疾患	853 件
認知症	709 件
家庭内暴力・虐待	80 件
自殺企図	40 件
無保険	5 件
身元不明	5 件
ホームレス	15 件
外国人	81 件
合計	3,715 件

(5)相談援助調整内容

※当年介入ケース ※日報

内容	実件数	延件数
受診・受療	608 件	1,211 件
経済的問題	131 件	571 件
制度活用	542 件	1,662 件
入院療養生活	1,548 件	2,153 件
退院支援(在宅・転院・施設入所)	4,542 件	24,142 件
在宅療養・看護	1,850 件	4,264 件
医療者との関係	30 件	45 件
家族関係	75 件	229 件
日常生活	4 件	6 件
就労・就学	41 件	85 件
身元保証・権利擁護	83 件	266 件
死後対応	7 件	8 件
その他	2 件	4 件
合計	9,463 件	34,646 件

(6)援助方法

※日報

方法	延件数	
面接	本人	8,425 件
	家族	3,175 件
	友人・知人	65 件
電話	本人	148 件
	家族	7,219 件
	友人・知人	125 件
訪問	家庭	0 件
	その他	0 件
同行・同伴・代行	1 件	
連絡調整・院内	26,375 件	
連絡調整・院外:面会	286 件	
連絡調整・院外:電話	22,581 件	
連絡調整・院外:文書・FAX・mail	5,034 件	
カンファレンス(院内職種のみ)	2,635 件	
カンファレンス(院外職種含む)	224 件	
合同カンファレンス(院内職種のみ)	42 件	
合同カンファレンス(院外職種含む)	84 件	
合計	76,419 件	

(7)チーム医療

腎臓内科カンファレンス	245 件
乳腺チーム	338 件
児童虐待防止委員会	33 件
虐待防止対策委員会	35 件
ハイリスク妊産婦カンファレンス	33 件
緩和チーム	283 件
行動制限最小化委員会	188 件
外来ケモカンファレンス	73 件
認知症ケアチーム	61 件

(8)転帰先

※当年退院ケース

区分	実件数
一般病院	316 件
回復期リハビリテーション病院	307 件
包括ケア	211 件
療養型病院	64 件
精神病院	130 件
介護老人保健施設	44 件
特別養護老人ホーム	122 件
有料老人ホーム	254 件
グループホーム	44 件
緩和	18 件
在宅	2,588 件
死亡	176 件

※当年介入ケース

苦情	30 件
認知症疾患医療センター相談件数	160 件

資料②

1 地域連携分野

内容	回数
かいごのWa! なか	12
神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会及び研修会	4
横浜市児童虐待防止医療ネットワーク(YMN)	4
大腿骨頸部バス合同会議	3
中区医療・介護支援連携推進会議	3
神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会広報WG	3
誤嚥性肺炎バス合同委員会	3
中区多職種事例検討会	2
磯子区地域医療連携会	2
第1回中区障害者自立支援協議会	1
中区在宅医療連携会議	1
JCHO横浜中央病院地域医療連携交流会	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会関東ブロック臨時会議	1
中区障害者自立支援協議会代表者会議	1
第25回 横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)	1
多職種間連携会議(西区)	1
西区高齢者虐待防止事業連絡会	1
メディカルショートステイ調整委員・実務者委員合同会議	1
中区要保護児童対策連絡会	1
市民啓発事業 在宅医療講演会	1
みなと医療連携交流会	1
中なかいいネ!	1
中区精神保健福祉業務連絡会	1
3機関合同連絡会	1
神奈川県長期療養就職支援担当者連絡協議会	1
西区レベル地域ケア会議	1
中区認知症高齢者等探してネットワーク連絡会、高齢者虐待防止連絡会及び区レベル地域ケア会議	1
中区障害者地域活動ホーム令和4年度運営委員会	1
精神科病院事務長・医事担当者会議	1

2 研修・勉強会

内容	回数
日本赤十字社看護師同方会神奈川県支部役員会	4
実習指導者研修会	4
赤十字救護班主事基礎研修会	2
実習指導者養成教育	2
新規採用職員基礎研修会	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会総会及び研修会	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会特別研修会	1
認知症看護認定看護師会 研修会講師	1
第1回両立支援コーディネーター基礎研修	1
骨粗鬆症セミナー	1

内容	回数
健康生活支援講習短期講習	3
骨粗鬆症セミナー	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会 初任者研修会	1
がん相談員基礎研修(3)	1
日赤東部ブロック看護部会看護係長研修会	1
指導者スキルアップ研修～相談対応の質保証を学ぶ～	1
看護補助者研修会	1
日本赤十字社臨床倫理と医療対話の研修会	1
日本赤十字社医学会総会	1
こころのケア研修	1
看護職交流会	1
日赤東部ブロック医療連携実務研究会	1
指導者スキルアップ研修～情報から始まるがん相談支援～	1
入院時重症患者対応メディエーター研修	1
ダイバーシティ研修	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会 中堅者研修会	1
緩和ケア研修 講師	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会 スーパービジョン研修会	1
横浜市社会福祉協議会 研修会	1
入院時重症患者対応メディエーター養成講習会	1
入院時重症患者対応メディエーター実務者発表会	1
総合防災訓練	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会 関東ブロック研修会	1
全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会 日本赤十字社医学会総会報告発表会	1
救急患者精神科継続支援料にかかる要件研修	1

3 その他

内容	回数
神奈川県立精神医療センター見学	1
新横浜クリニックへご挨拶	1
磯子中央病院へご挨拶	1
汐見台病院、関東病院へご挨拶	1
けいゆう病院へご挨拶	1
訪問看護見学	1
中区役所訪問	1

4-6 市民委員会

1 データ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催日 (出席人数)	令和3年3月5日 ～23日(文書審議)	令和4年3月30日 (9人)	令和5年2月10日 (7人)

	委員氏名	役職
1	河原 和夫	日の出ヶ丘病院、日の出ヶ丘介護医療院 院長
2	秋山 修一	横浜市中区医師会 会長
3	三角 隆彦	社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 院長
4	荻野 安奈	作家 慶應義塾大学文学部名誉教授
5	茅本 隆司	日本発条株式会社 代表取締役社長
6	川本 守彦	川本工業株式会社 代表取締役社長
7	河村 朋子	磯子区医師会在宅部門統括責任者
8	松澤 秀夫	中区連合町内会長連絡協議会 会長
9	田島 真也	横浜みなと赤十字病院奉仕団 団員

2 成果

報告内容は以下のとおりである。

- ・横浜市立みなと赤十字病院の現況
- ・心臓血管外科の取り組み～医療連携の重要性～
- ・横浜市の救急搬送の現状と当院の取り組みについて

当院の運営に対し有識者から意見をお聞きし、上記各報告についてだけではなく、その他当院の様々な問題点についてもご指摘をいただく場となっている。

3 課題

委員の方からご意見をいただいた場合に、担当部署が責任をもって改善に向けた行動に繋げることが必要である。

4-7 治験・受託研究

1 データ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
治験実施件数	23件	19件	22件
自主臨床試験件数	146件	155件	138件
特定臨床研究	8件	7件	7件
製造販売後調査件数	50件	53件	52件

2 成果

(1) 治験

治験審査委員会は毎月1回開催し、開催回数は12回であった。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため昨年度に引き続き12回全ての委員会をWeb会議システムにより開催した。

令和4年度新規治験受託件数は7試験（医薬品7試験）であった。内訳は下記のとおりである。

- ① 慢性副鼻腔炎患者を対象とした第Ⅲ相、ランダム化、二重盲検、並行群間比較試験
- ② 慢性腎臓病を伴う心不全患者における第Ⅱ相、無作為化、二重盲検、実薬対照、多施設共同試験
- ③ ピーナッツアレルギー患者を対象とした施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験
- ④ 既存治療で効果不十分又は既存治療の実施が困難な活動性の関節リウマチ患者を対象とした臨床第Ⅲ相試験
- ⑤ アルツハイマー病患者を対象とした無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較第Ⅱ相試験
- ⑥ 中等度から重症のコントロール不良喘息患者を対象とした有効性及び安全性を評価する、第2相、無作為化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照試験
- ⑦ 青少年アトピー性皮膚炎患者を対象とした二重盲検ランダム化プラセボ対照第Ⅲ相試験

(2) 自主臨床研究

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、侵襲および介入のない研究については文書審議（介入がなく軽微な侵襲があるものも含む）を実施した。

研究の実施支援においては、治験コーディネーター（CRC）の支援をいくつかの研究において実施した。支援業務としては同意説明補助、被験者の来院管理、試験窓口、データ入力、データ抽出、検体回収等であった。

(3) 特定臨床研究

研究分担施設として実施した研究は7試験であった。施設管理者への報告および承認取得の体制を構築し、臨床研究法から逸脱のないよう施設内での情報伝達を実施した。

(4) 教育・研修

研修、臨床研究の申請方法および手順書等の案内は主に電子カルテ掲示板を通じて実施した。初回研修セミナーとして指定した2つの e-learning の新規受講者は計26名であった。継続研修セミナーとしては、下記の通り2回実施した。

	1回目	2回目
実施時期	令和4年4月19日	令和4年11月25日
テーマ	観察研究結果を臨床現場に適用するときに理解しておくべきこと	生命・医学系研究倫理指針の改正の要点と今後の臨床研究の課題
講師	横浜市立大学大学院医学群/ 大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻 教授 後藤 温 先生	東京医科歯科大学 教授 医療イノベーション推進センター センター長 東京医科歯科大学病院 副病院長 小池 竜司 先生
開催方法	会場とWeb併用のハイブリッド	会場とWeb併用のハイブリッド
単位認定	日本専門医機構の認定講習	日本専門医機構の認定講習
参加者	96名（院内81名、院外15名）	73名（院内51名、院外22名）

3 課題

(1) 治験

- ・治験管理システムをさらに活用し、紙の資料から電子データを利用した委員会審議を実施できるよう手順書及び環境等の整備および見直しを進める。
- ・がん拠点病院として、抗がん剤の治験を実施できるよう院内への啓蒙活動および実施体制の整備を進めていく。

(2) 自主臨床研究

- ・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の改正に伴い、手順書の見直しを図り、個人情報保護法に則った研究実施体制および審査体制の整備を行う。
- ・臨床研究の院内規定及びデータ管理体制について、実施状況報告および終了報告が適切に実施されるよう研究者へ周知を図る。
- ・臨床研究の申請から審査までが円滑に行われるよう手順の検討ならびにシステム導入について再度検討を進め、導入に向けて準備する。

(3) 特定臨床研究

- ・整備途中である手順書及び様式を整え、体制を構築する。

4-8 患者・市民に対する相談・啓発活動

1 データ

<安全講習会開催実績>

(1) 赤十字救急法短期講習会

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
9月16日	8名	5月19日	7名	5月17日	5名
11月12日	5名	9月15日	15名	7月21日	5名
1月14日	3名	11月15日	9名	9月21日	12名
		1月18日	6名	11月15日	6名
				1月17日	4名
				1月18日	5名
				1月20日	5名
				1月24日	10名
3回	16名	4回	37名	8回	52名

(2) 赤十字救急法救急員養成講習会

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
開催なし		開催なし		開催なし	
0回	0名	0回	0名	0回	0名

(3) 赤十字健康生活支援講習会（短期講習会）

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
11月5日	20名	11月26日	16名	11月25日	16名
				1月19日	16名
1回	20名	1回	16名	2回	32名

(4) 水上安全法講習会（市内小学校の着衣泳短期講習会へ指導員職員を派遣）

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
開催なし		開催なし		開催なし	
0回	0名	0回	0名	0回	0名

2 成果

新型コロナウイルス感染症対策を施し救急法の短期講習会の実施を増やすことができたが、市民の受講を受け入れる救急法救急員養成講習や水上安全法講習会は実施を見合わせた。

3 課題

救急法短期講習会（BLS 講習）や健康生活支援講習会は、当院を訪れた患者や来訪者の急変時の対応も含まれており、来訪された方々の健康や安全の確保、サービスの向上のために、引き続き講習会を開催し、より多くの職員の習得を目指す。また、横浜市立病院であり赤十字病院でもあるため講習会を通じて市民への健康・安全への意識向上により取り組む。

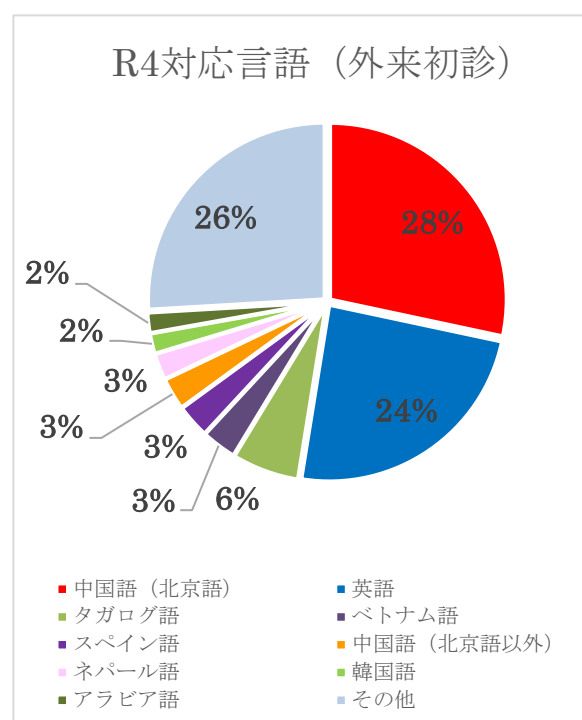
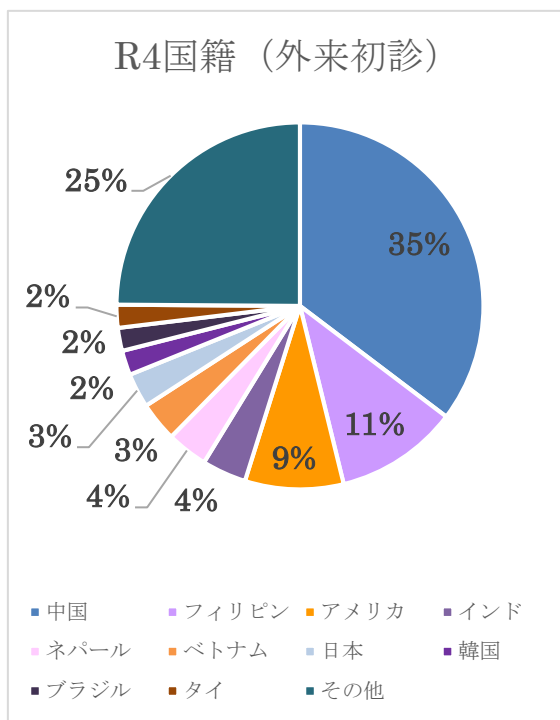
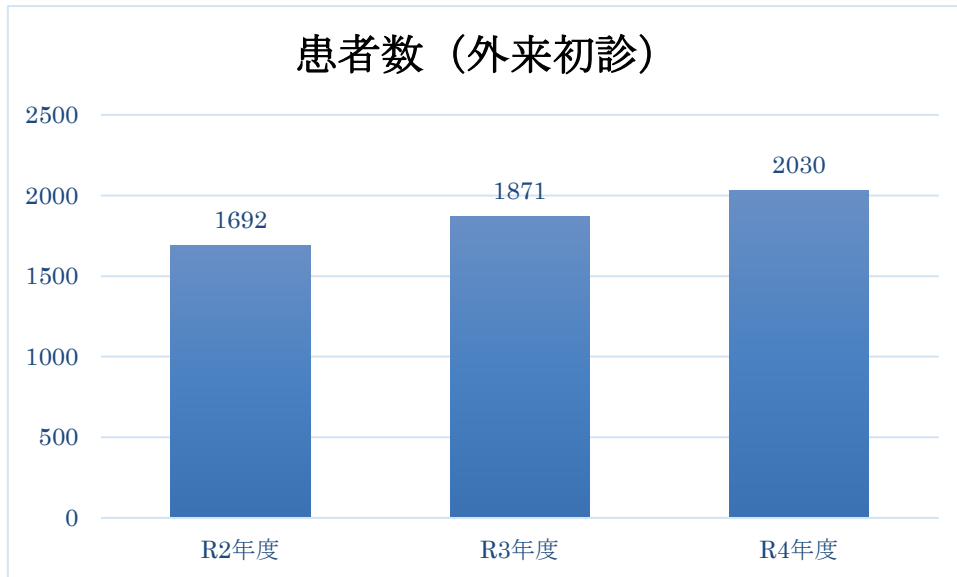
4-9 患者サービス

1 データ

(1) 患者満足度調査結果（令和4年度）

患者満足度調査を令和4年11月に実施した。結果については、令和5年度第1回のCS委員会にて報告予定である。

(2) 外国人患者統計（令和4年度）



2 成果

(1) CS 委員会

CS 委員会では、「療養環境チーム」「調査改善チーム」「啓発教育チーム」の3チームを設置し、活動を行った結果、以下の成果を得た。

療養環境チームでは、腎臓内科外来の待合には他の外来と異なりベンチが設置されていなかったことから、法令等の諸要件を確認した上で3～4人掛けのベンチを4台購入し、配置した。また「みなさまの声・ご提案」に基づき2回のラウンドを実施した。

調査改善チームでは、「患者満足度調査」、「みなさまの声・ご提案」によって集積される患者のご意見を分析し、患者サービス向上への取組を行っている。令和4年度においては「みなさまの声・ご提案」に寄せられたご意見を「属人」「施設・設備」「規則・体制」「満足」の4分類に分けることとし、意見に対する活用フローを作成した。

啓発教育チームでは、CS スキルアップ研修を令和5年1月26日に対面とオンラインの双方で実施。アンケート調査では90%以上が参考になったと回答があり、有意義な研修となった。また年間スローガンを作成するとともに、CS 活動報告ニュースを発行した。

(2) 外国人患者対応

外国人患者対応では、収集した患者統計、アンケート、対応困難事例などを参考に、国際医療部運営委員会にて常時改善活動を行っている。また、次年度のJMIP 更新プロジェクトの活動を開始し、マニュアルや運用フローについて見直しを行った。外国人患者対応に関するノウハウを作業マニュアルとして可視化した。

訪日外国人患者が増加傾向で、対応言語も増えているため、病院ホームページにGoogle 翻訳機能を導入、情報提供方法を改善した。

(3) 病院ボランティア活動

ボランティア活動では、横浜みなと赤十字病院奉仕団に所属する病院ボランティアが、訪れた患者がスムーズで安心して受診できるように、院内の案内や、敷地内のガーデニング、患者用パッチワークキルトひざ掛けの製作などの活動や提供を行った。

3 課題

療養環境チームでは、開院から18年経過し施設の老朽化が進んでいることに対し、病院施設管理委員会への提言、修繕予算及び決定機構を策定するといった改善プロセスを確立する。

調査改善チームでは、患者満足度調査の方法を改善するとともに、調査結果を受けての改善プロセスを確立する。

啓発教育チームでは、ホスピタリティを病院職員に根付かせることを目的に継続していく。

外国人患者対応としては、JMIP 受審準備をすすめ、今後増加が見込まれる訪日外国人への対応の強化（救急外来での対応強化、未収金対策、現場で必要な書類の多言語化など）を更に推し進める。

4-10 医療データベースの構築と情報提供

1 成果

- (1) 情報セキュリティ体制の強化
 - ・ランサムウェア対策として医療機器保守回線のチェック、オフラインバックアップ装置の設置を行った。
 - ・職員対象の情報セキュリティ研修を行った。
- (2) 電子カルテシステムのリプレイス検討と安定稼働
 - ・次期電子カルテシステムの選定に向け、他病院見学、電子カルテデモンストレーション、部門システムヒアリングなどを行った。
 - ・重大なシステムダウンに備えて、サーバー監視体制の強化、システムダウン時マニュアルや紙伝票の見直し・再配置、アクションカードの作成などを行った。

2 課題

- (1) 電子カルテシステムのリプレイス準備
 - ・働き方改革や業務効率化の推進、BCP（事業継続計画）や情報セキュリティ対策の強化のため、電子カルテシステムのリプレイス計画を進める。
- (2) 情報セキュリティ体制の強化
 - ・医療情報の安全管理に関するガイドラインなどを参考に、職員対象の訓練や研修、外部からの不正侵入に備えた対策を進める。

5 職員研修

5-1 職員研修（医師）

1 データ

(1) 事業実績

研修会等名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
モーニングセミナー	年間44回	年間43回	年間43回
医学生向けプログラム 説明会	年間3回オンライン (125名参加)	年間3回オンライン (155名参加)	年間3回オンライン (148名参加)
Morbidity and Mortality Conference	年間3回	年間4回	年間2回
講演会	年間1回	年間2回	年間2回
新規採用者 オリエンテーション	未開催	4月1日	4月1日
新規採用医師 オリエンテーション	未開催	4月2日	4月4日
新規採用研修医 オリエンテーション	4月6～9日 (4日間)	4月5～9日 (5日間)	4月5～8日 (4日間)
チーム医療 ワークショップ	10月23日	4月28日	4月28日
院内CVCライセンス 制度	認定試験3回 指導者試験0回	認定試験2回 指導者試験0回	認定試験3回 指導者試験1回
指導医養成講習会	-	11月27・28日 (2日間)	-
JMECC	未開催	未開催	2月12日

(2) 採用人数

【初期研修】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
研修医	8 (8)	8 (8)	8 (8)	8 (8)
研修歯科医	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)

※ () は定員数

【専門研修】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
整形外科専攻医	0 (2)	2 (2)	1 (2)	2 (2)
内科専攻医	4 (4)	5 (5)	5 (6)	1 (6)
外科専攻医	1 (2)	1 (2)	1 (2)	2 (2)
救急科専攻医	0 (6)	4 (6)	6 (6)	5 (6)
麻酔科専攻医	0 (2)	0 (2)	3 (3)	0 (4)
精神科専攻医	—	0 (3)	2 (2)	1 (2)

※ () は定員数

(3) 診療科見学者数 (延べ人数)

【医科】

(医学生) 見学者年間延べ人数

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
128	140	169	216

(研修医) 見学者年間延べ人数

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
7	14	17	27

【歯科】

(歯学生) 見学者年間延べ人数の推移

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
15	10	5	17

2 成果

医師及び歯科医師臨床研修では、医師8名、歯科医師1名が研修を修了した。令和2年度より新制度に移行した医師臨床研修制度では、PG-EPOC などを使用して到達目標の達成状況の確認を行った

PG-EPOC や当院規定の書式により指導医および他職種が研修医に対する評価を実施し、研修医にフィードバックした。

令和3年度研修開始研修医のうち2名が当院の専門研修プログラムで研修を開始することとなった(救急専門研修2名)。

専門研修では、内科1名が研修を修了した。

初期臨床研修及び専門研修に関して令和4年度の採用活動は引き続きホームページを基本とし、医学生向けに当院独自にプログラム説明会を開催した。

3 課題

臨床研修では、令和4年度に受審した卒後臨床研修評価機構による第三者評価の結果(未着)を踏まえ必要な取り組みを行う。

専門研修では、管理委員会など年間計画立案、プログラム改訂、連携病院への連絡など定時作業の円滑な実施と効果的な募集活動が望まれる。

新型コロナウイルス感染状況の改善に応じて、学生や臨床研修医への広報活動・採用活動を検討していく。

5-2 職員研修（看護部）

1 データ

(1) ラダー認定者数・院外研修受講者数等

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実践者ラダーレベルⅠ認定	51人	55人	70人
レベルⅡ認定	39人	43人	39人
レベルⅢ認定	14人	4人	3人
レベルⅣ認定	0人	0人	0人
管理者ラダーレベルⅠ認定	3人	0人	0人
レベルⅡ認定	0人	1人	0人
レベルⅢ認定	0人	0人	0人
ラダー研修	62回	62回	59回
役割研修	33回	33回	33回
新人技術研修	11日	11日	11日
院外研修(看護協会)	59人	76人	69人
看護管理者ファースト研修	0人	4人	5人
看護管理者セカンド研修	2人	1人	0人
看護管理者サード研修	0人	0人	0人
臨床指導者研修	3人	7人	5人
認定看護師研修	2人	3人	1人
学会発表・参加	27人	48人	66人
特定行為研修	0人	2人	2人

(2) 院内・院外特定行為研修実績

区分別科目名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	2人	2人	2人
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	1人	1人	2人
循環動態に係る薬剤投与関連	0人	0人	0人
創部ドレーン管理関連	1人	0人	0人
精神および神経症状に係る薬剤投与関連	0人	1人	0人

(3) 院内ラダー・役割研修実績

研修名	研修名	回数	受講者数	研修名	研修名	回数	受講者数
実践者 レベルⅠ	フォローアップ	1	79	実践者 レベルⅢ	認知症ケア	4	9
	医療と診療情報	1			口腔ケア	4	11
	フィジカルアセスメント	1			退院支援	5	19
	多重課題	1		実践者 レベルⅣ	ストレスマネジメント	1	4
	災害救護	1			キャリアカウンセリング	2	5
実践者 レベルⅡ	フィジカルアセスメント	5	59	管理者 ラダー	新任係長研修	4	1
	赤十字と看護倫理	1	59		新任師長研修	0	0

	看護と診療報酬	1	59	役割研修	救護員のための赤十字看護師研修	4	59
	看護コミュニケーション	1	51		フォローアップ研修	5	8
	ナラティブ	2	47		こころのケア要員	1	22
実践者 レベルⅢ	実地指導者	5	43		静脈注射基礎Ⅰ	3	79
	リーダーシップとメンバーシップ	3	21		静脈注射基礎Ⅱ	1	57
	看護倫理Ⅲ	2	21		2022年教育担当者	2	11
	看護研究	2	11		2023年教育担当者	1	11
	マネジメント入門	3	14		褥瘡専任看護師研修	6	44
	フィジカルアセスメント	4	15		暴力対応研修	1	19
						看護補助者研修	9

2 成果・課題

(1) 看護職員のキャリア開発

院内研修はコロナ禍であることを考慮し、一部オンデマンド、eラーニングを取り入れた形態で実施した。また、対面での研修ではフェイスシールド等の感染対策をしながら、グループワークやディスカッションを実施することもできた。どの研修形態であっても、看護職員はそれぞれの研修目標の達成度は高く、充分学んでいた。新人看護師を対象とした実践者ラダーのレベルⅠは昨年度より取得者は多いが、レベルⅡとⅢの取得者が減少している現状がある。コロナ禍により赤十字救急法の研修開催がなくレベルに到達していないこと、日々の業務に疲弊し目標が見失われていることが予測される。今年度はRプランによる目標管理導入があり、個々のキャリアを再認識する機会としていきたい。

(2) 特定行為看護師の育成

研修スケジュールに則り、各受講者は学習することができた。この研修を受講するにあたり、その時間を業務時間内で確保するための調整が課題である。それと、すでに特定行為研修を修了した看護師の活動の場がまだ不明瞭である。院内職員が特定看護師の活躍を認識することで、さらに研修受講者の増加につながることを予測できる。今後は活動の場の透明性と周知に取り組んでいきたい。

(3) 看護管理者のキャリア開発

看護管理者研修のファーストレベル研修へ派遣したが、セカンドレベル研修は応募者がいなかった。看護管理者のキャリアとして各自の目標を明確にし、院外管理者研修を勧めていきたい。また、管理者ラダー取得に向けても各自が計画的に申請できるよう支援していきたい。

(4) 役割研修による看護師育成

法に基づいた静脈注射研修は対象者が全員受講することができた。他のスキルアップとして褥瘡ケア、暴力対応等の研修も各部署1～2名受講することが

できた。救護関連の研修では、救護看護師等養成研修により赤十字救護員として延べ300名が登録、さらに、こころのケア要員研修とフォローアップ研修により、様々な災害に対応できる看護師の育成につなげることができた。ただ、赤十字救急法の実施がコロナ禍により開催されていないことから、救護員としての赤十字看護師登録に向けて、院内での開催等を検討していく必要がある。

(5) 看護補助者のキャリア開発

看護補助者のラダーを開始してから2年経過し、キャリアを認識する機会が得られている。しかし、ラダーレベルⅢの指標がないため、令和5年度に作成し周知していきたい。

5-3 職員研修（薬剤部）

1 データ

(1) 部内研修実績

- ・ Quality Indicator (Q I) とバランスト・スコアカード (B S C) から個人目標へのつなげ方 1回
- ・ ランチタイムセミナー 20回
- ・ 文献検索、D I 情報共有 6回
- ・ がんに関する勉強会 4回
- ・ 感染に関する勉強会 2回
- ・ 糖尿病腎臓関連勉強会 2回
- ・ FLS に関する勉強会 1回
- ・ 学会報告会 6回
- ・ 病棟関連業務、調剤室業務に関するオーディット及び勉強会 8回
- ・ 共有事例研究 1回

(2) 学会発表

- ・ 日本医療薬学会 1演題
- ・ 日本臨床救急医学会総会・学術大会 1演題
- ・ 日本癌治療学会学術集会 1演題
- ・ 日本臨床腫瘍学会学術集会 1演題
- ・ 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2演題
- ・ 日本赤十字社医学会総会 1演題

(3) 論文投稿

- ・ 日本臨床腫瘍薬学会雑誌 1報

(4) 学会シンポジウム

- ・ 日本医薬品情報学会総会・学術大会 1演題

2 成果

- ・ 薬剤部内において部員会での研修プログラムを作成し、薬剤師研修委員会を中心に部員会をはじめとした研修の質の向上に努めている。
- ・ 令和4年度も新型コロナウイルスの蔓延状況により、研修時間を短縮するなど、研修等の継続に支障がでたものの、できる限りの研鑽を進めてきた。
- ・ Q I や B S C を基に、個人目標シートを作成するとともに年2回以上の面談を実施し目標達成度と次の目標を確認しながら所属長及び研修担当と各職員が情報を共有し継続的に実施している。
- ・ コロナ禍においても、日常業務から問題点を抽出し、評価、改善をおこなう業務の改善や研修の継続につなげてきた。

3 課題

- ・薬剤師教育ラダーを活用し教育を行っているが、評価方式については日赤本部の教育ラダーも参考にしながら、引き続き検討していく必要がある。
- ・専門、認定薬剤師取得者を増やし薬物療法の質向上につなげるため、研修、学会への参加を引き続き積極的に進める。また、今後感染状況を加味しながら他施設との情報交換も積極的に進め、専門、認定の必要性についてもさらに理解を深める必要がある。
- ・設定した個人目標を確実に達成させ、個々の質を高めるとともに薬剤部全体の質を高めるよう目標管理シートの活用や部員会の充実に努める。

5-4 職員研修（医療技術部門）

1 データ

研修会名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規採用者オリエンテーション	4月開催	4月開催	4月開催
インシデント報告ツール説明会	4月開催	4月開催	4月開催
チーム医療ワークショップ	年間2回開催	年間2回開催	年間2回開催
研修会参加数（5部門）	年間40回	年間60回	年間170回

2 成果

放射線科部、検査部、栄養課、リハビリテーション科部、臨床工学課で構成している医療技術部門での研修は、それぞれの部門が研修・勉強会に参加した。新型コロナ禍の影響で Web 開催が多いが各部門で積極的に研修に参加し、自己研磨に努めることができ、資格取得や学会発表なども行った。

3 課題

医療技術部門全体での研修は各分野の専門性が強いため、医療技術部門共通の研修会を開くことは難しい。共通となる医療安全や感染対策の院内研修会には参加の呼びかけを行った。引き続き各部門内で、研修参加をサポートするとともに、昨年度同様に専門職の認定資格取得や学会発表も推進していく。

5-5 職員研修（事務部）

1 データ

	令和3年度	令和4年度
レベル1 (入社1年目)	対象者：3人 総合案内研修、他部署体験、コミュニケーションスキル研修など12回	対象者：7人 総合案内研修、メンタルヘルス研修、コミュニケーションスキル研修など10回
レベル2 (入社2年目)	対象者：4人 医療保険制度、会計の基礎、目標管理など6回	対象者：2人 医療保険制度、会計の基礎、メンタルヘルス研修、目標管理など7回
レベル3 (入社3年目以降の主事)	対象者：49人 業務改善、コンプライアンス、後輩指導、PCスキル、災害対応研修など12回	対象者：52人 業務改善、コンプライアンス、後輩指導、PCスキル、災害対応研修、メンタルヘルス研修など12回
レベル4 (係長クラス)	対象者：19人 SWOT分析を用いた目標の設定や課題解決（講義聴講/プレゼンテーション）2回	対象者：17人 Eラーニング（チームマネジメント、問題解決）、メンタルヘルス研修の3回
レベル5 (課長クラス)	対象者：17人 自己啓発研修、オンラインセミナー受講	対象者：17人 メンタルヘルス研修、経営マネジメント研修の2回

2 成果

令和4年度は、各レベル横断的にメンタルヘルス研修を取り入れ、公認心理師を講師に迎えセルフケア、ラインケアの知識習得に力を入れた。レベル1、2合同で行った座談会では、若手職員同士の良い交流の機会となった。事務職員が心の健康を確保しながら働くための基礎を形成できたと評価している。また、コロナ禍で集合型研修が難しい中、感染防止対策を講じながら講義形式の研修を増やしたり、Eラーニングを活用したりと、各レベルで工夫して研修を継続できた。また、各レベルで外部講師を招かずに職員が講師役を担って研修できたことなども、両者にとって効果的な学びの機会になったと考える。

3 課題

各レベルで行う研修内容は、基本的に前年度を踏襲するため形式的になりがちである。事務研修委員会としての目標を毎年度掲げ、その目標の達成するための研修を加えることでマンネリ化を防いでいく。

事務職員がどのような研修を望んでいるのか調査したところ、若手職員は実務に直結する研修を望む傾向にあることがわかった。今後は、研修を受ける側の意見も取り入れながら、ニーズに合った研修計画を立てていく必要がある。

6 院外からの研修受入れ

6-1 院外からの研修受入れ（医師）

1 データ

クリニカルクラークシップ受入れ数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受入れ総数	2名	2名	7名

2 成果

近年、医学教育の国際基準に適合するため大学の臨床実習期間が延長され、大学病院以外の病院でもクリニカルクラークシップが行われるようになってきている。当院でも東京医科歯科大学をはじめとする大学からクリニカルクラークシップの学生を受け入れていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れ要請が減っている。

令和4年度は3大学（東邦大学2名、杏林大学4名、聖マリアンナ医科大学1名）から7名を受け入れ、3名が救急科、4名が救急外科で実習を行った。

3 課題

新型コロナウイルス感染状況の改善に伴い、各大学からのクリニカルクラークシップ受け入れ要請の増加が見込まれる。受け入れ要請があれば可能な限り学生を受け入れていきたい。

6-2 院外からの研修受入れ（看護部）

1 データ

(1) 研修受入れ数（添付資料参照）

ア 看護基礎教育実習

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受入れ総数	162名	263名	339名

イ 卒後教育実習

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受入れ総数	5名	11名	11名

(2) 実習指導者研修

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実習指導者研修修了者数※	29名	40名	42名

※看護師長、日本赤十字看護大学実習指導者研修は含まない。

2 成果と課題

(1) 基礎教育実習と卒後教育実習の受入れ

ア 基礎教育実習は大学2校（日本赤十字看護大学、創価大学）と看護専門学校3校（神奈川県立よこはま看護専門学校、神奈川県立衛生看護専門学校、横浜市病院協会看護専門学校）を受け入れた。新型コロナウイルス感染の院内クラスター発生により、実習部署の変更や一時的に実習を中断したこともあった。最大限、実習受け入れができるよう対応し、令和3年度より実習生を多くうけることができた。令和5年度も院内の状況に合わせ、充実した実習ができるよう環境を整えていきたい。

イ 卒後教育では、各大学院、教育機関から11名の実習生を受け入れた。十分な感染対策の元、全日程実習を実施することができた。実習生と関わることで各部署の看護や看護管理を振り返る機会を得ることができた。今後も積極的に実習生を受け入れていきたい。

(2) 実習指導者の育成

令和4年度は、実習指導者研修（長期）に6名派遣した。今後も長期実習指導者研修生が増員できるよう計画的な育成を目指す。日本赤十字看護大学フロンティアセンターの実習指導者研修は11名が受講できた。今後も教育の質向上を目指し育成を継続する。

(3) 実習環境の整備

休憩室は、換気や除菌用アルコールタオルの常備等を継続し、感染予防対策に努めた。

6-3 院外からの研修受入れ（薬剤部）

1 データ

研修名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
薬科大実務実習	16名	17名	15名	14名
早期体験実習	14名	0名	0名	0名
学生版薬薬連携実習	32名	16名	10名	7名

2 成果

薬科大学実務実習では、新しいコアカリキュラムのプログラムに沿って臨床現場に重点を置き実習を行ってきた。学生1名に対し実務実習指導薬剤師を2名配置し、臨床に則した形がとれるようになってきた。

また、早期から薬薬連携を意識することを目的とし、中区薬剤師会会員薬局にて実習中の学生とともに薬薬連携実習を実施した。

また、薬科大学の早期体験実習、中学生の職場体験実習の研修の受け入れに関して令和4年度は見送りとした。神奈川県病院薬剤師会実務者研修会の研修は1名受け入れた。

3 課題

令和元年度から実務実習では、新しいコアカリキュラムでの実習が展開されている。コロナ禍にありながら状況を加味し、できる限り患者を継続してモニタリングできるよう、実務実習を継続してきた。今後は、さらに内容を充実させ、当院独自に作成しているテキストの中身もブラッシュアップさせながら取り組んでいきたい。

6-4 院外からの研修受け入れ（リハビリテーション部）

1 データ

リハビリテーション実習生受け入れ状況

令和2年度：	作業療法臨床実習生	2名		
令和3年度：	理学療法臨床実習生	2名		
	作業療法臨床実習生	1名	作業療法評価実習生	1名
令和4年度：	理学療法臨床実習生	2名	理学療法評価実習生	1名
	作業療法臨床実習生	2名		

2 成果

令和4年度は、新型コロナウイルス感染は続いていたが、予定した理学療法及び作業療法実習は受け入れることができた。結果として理学療法及び作業療法は計5名の実習生受け入れた。

コロナ禍以前と比較すると、指導者、学生の双方が常に感染対策に注意を払いながらの実習となっている。リハビリテーションの実施については本来、感染対策は十分に成されるべきであり、日頃の感染対策について学び直す良い機会になっていることに加え、感染状況に応じて実習受け入れの可否を冷静に判断できるようになってきている。

3 課題

実習生を受け入れる上で問題になるのが、実習担当スタッフの時間的、精神的負担である。感染対策へ気を配る必要も迫られ、また学校とも実習の可否についての相談も増え、その点も負担となった。

後輩たちをいかに優秀な人材に育てるのかという使命は十分に理解しているものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、特に食事中的の会話が出来ないことから、実習生とスタッフとのコミュニケーションや関係構築には難しい面もあった。

厚生労働省から公布された理学療法士作業療法士養成施設指定規則の改正に対応するべく、臨床実習指導者研修会へは継続的に参加している。

6-5 院外からの研修受入れ（救命救急センター）

1 データ

救急救命士・救急士の実習生受入数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
横浜市消防局	新型コロナウイルス の影響で中止	4名	6名
海上保安本部	10名	13名	9名

2 成果

病院前救護に必要な医学的知識・技能及び救急・救助活動における総合的な対応能力の維持・向上を目的とし、救命救急士・救急員の実習生受入を行っている。また、厚生労働省が実施する救命救急センター充実段階評価で、「救急救命士の気管挿管または薬剤投与実習の受入れ」が評価項目に入っており、病院としても積極的に実習生受入れを行っている。

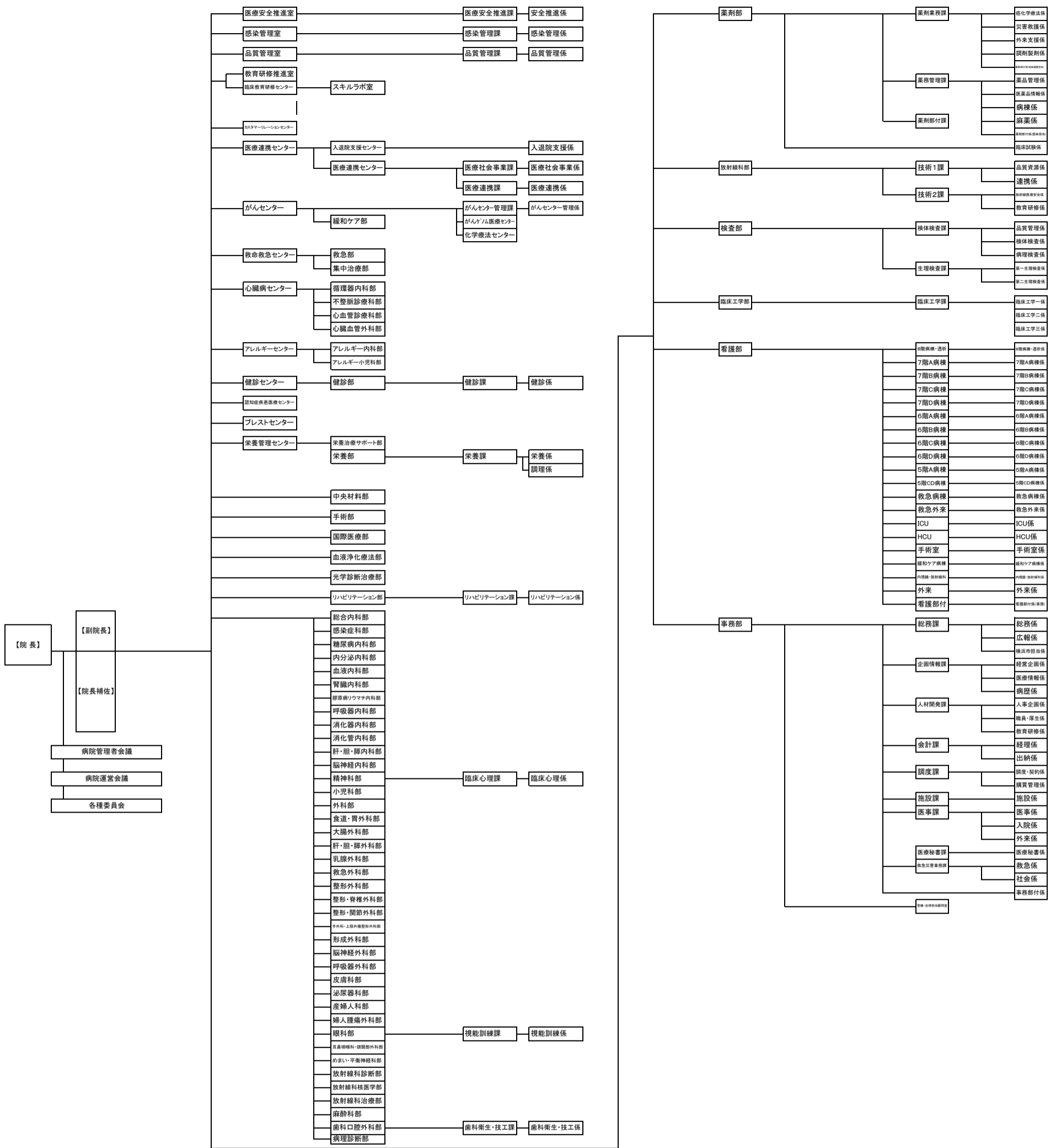
令和4年度は横浜市消防局、海上保安庁から合計15名を受け入れた。

救急救命士の教育ガイドラインや院実習実施要領等に基づき、当院の救命救急センターにおいて見学や実習を行った。

3 課題

当院は救急患者数が多く、横浜市消防局をはじめとした関係機関との連携が不可欠である。救急救命士の能力向上が市民の救命につながるため、今後も可能な限り実習生の受入を行っていききたい。

7 職員



7-2 職員配置状況

令和5年3月31日現在

職 種	配置 人員数	内 訳			備 考	
		常勤	非常勤	派遣職員等		
管 理 部 門	事 務 職 員	203.0	105.0	10.0	88.0	常勤に看護師4名、横浜市職員2名含む
	技 術 職 員	1.0	1.0	0.0	0.0	
	運 転 手	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ボ イ ラ ー 技 師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	電 話 交 換 手	2.0	0.0	0.0	2.0	
診 療 部 門	医 師	291.0	212.0	79.0	0.0	
	歯 科 医 師	6.0	5.0	1.0	0.0	
看 護 部 門	看 護 師	586.0	571.0	15.0	0.0	
	准 看 護 師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	看 護 助 手	62.0	49.0	6.0	7.0	
	事 務 職 員	17.0	2.0	0.0	15.0	
健 診 部 門	看 護 師	3.0	3.0	0.0	0.0	
	事 務 職 員	14.0	2.0	0.0	12.0	
連 携 部 門	社 会 福 祉 士	9.0	9.0	0.0	0.0	
	精 神 保 健 福 祉 士	2.0	2.0	0.0	0.0	
	看 護 師	10.0	10.0	0.0	0.0	
	事 務 職 員	13.0	6.0	0.0	7.0	
検 査 ・ 医 療 技 術 部 門	薬 剤 師	43.0	40.0	1.0	2.0	
	診 療 放 射 線 技 師	36.0	36.0	0.0	0.0	
	臨 床 検 査 技 師	50.0	46.0	4.0	0.0	常勤に衛生検査技師1含む
	理 学 療 法 士	20.0	20.0	0.0	0.0	
	作 業 療 法 士	9.0	9.0	0.0	0.0	
	言 語 聴 覚 士	3.0	2.0	1.0	0.0	
	マ ッ サ ー ジ 師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	臨 床 工 学 技 士	12.0	12.0	0.0	0.0	
	視 能 訓 練 士	2.0	2.0	0.0	0.0	
	歯 科 衛 生 士	4.0	4.0	0.0	0.0	
	臨 床 心 理 士	4.0	2.0	2.0	0.0	
	管 理 栄 養 士	9.0	9.0	0.0	0.0	
	栄 養 士	0.0	0.0	0.0	0.0	
	調 理 師	6.0	6.0	0.0	0.0	
	事 務 職 員	8.0	2.0	0.0	6.0	常勤に看護師1名含む
その他	4.0	0.0	1.0	3.0	アレルギーセンター事務 プレストセンター事務	
合 計	1429.0	1167.0	120.0	142.0		

8 施設管理

8-1 医療機器の整備状況

購入単価500万円以上のもの

	部門名	機器名称	用途	新規・更新
1	診療部門	超音波画像診断装置	救急外来用	増設
2	中央部門	人工心肺装置	手術用	増設
3	中央部門	高圧蒸気滅菌装置	滅菌洗浄用	更新
4	中央部門	汎用X線透視装置	診断用	更新
5	診療部門	移動型X線回診車	救急外来用	更新
6	中央部門	内視鏡ビデオシステム	手術用	更新
7	中央部門	白内障手術装置	手術用	更新
8	中央部門	全自動錠剤分包機	調剤用	更新
9	中央部門	電動式ドリル	手術用	更新
10	中央部門	Navigatorシステム	手術用	更新
11	診療部門	内視鏡システム	耳鼻科用	更新
12	診療部門	レーザー凝固装置	眼科用	更新
13	中央部門	IMPELLA制御装置	手術用	新規
14	中央部門	マンモグラフィー	診断用	更新
15	中央部門	マンモトーム	診断用	更新
16	診療部門	呼吸機能検査システム	アレルギーセンター用	更新
17	診療部門	超音波画像診断装置	循環器内科用	新規

8-2 施設設備改修報告

(令和4年度)

	部門名	施設・設備名称	面積(m ²)	用途	新規・修繕
1	病院棟	加湿器更新	-	院内の湿度を保つための加湿器の更新	修繕
2	病院棟及び エネルギーセンター棟	消防設備更新	-	自動火災報知設備等の更新	修繕
3	エネルギーセンター棟	ガスタービン発電機回転子引 抜精密点検兼回転子ドライア イス洗浄兼軸受交換	-	自家発電に使用するガスタービン発電 機の整備	修繕
4	エネルギーセンター棟	特高受変電設備C-GIS用品1系 整備更新	-	特別高圧を受電するための設備の更新	修繕
5	エネルギーセンター棟	特高受変電設備複合型継電器 MCR2系整備更新	-	特別高圧を受電するための設備の更新	修繕
6	エネルギーセンター棟	電力中央監視設備更新	-	院内の電気設備の運転状況や電力使用 状況を管理する設備の更新	修繕

8-3 施設設備管理報告 法定及び自主点検業務

法定点検業務等	点検種別	周期	令和4年度												関連法規及び保守管理基準	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特定建築物	定期検査	1回/1~3年								●						建築基準法
昇降機設備	定期検査	1回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	建築基準法
自家用発電設備（コジェネ発電）	定期検査	1回/年			●						●	●				電気事業法・消防法
ボイラー	性能検査	1回/年				●										労働安全衛生法
第1種圧力容器	性能検査	1回/年				●										労働安全衛生法
ゴンドラ（H29.12.5~休止中）	性能検査	1回/年														労働安全衛生法
第2種圧力容器	自主検査	1回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	労働安全衛生法
小型ボイラ設備	自主検査	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	労働安全衛生法
簡易専用水道	定期検査	1回/年								●						水道法
カスタービン（ガス圧縮機）	定期検査	1回/3年														電気事業法※R3年実施次回R6年
消防設備	定期検査	2回/年						●						●	●	消防法
地下タンク貯蔵所	定期検査	1回/3年														消防法 ※R3年実施次回R6年
避難はしご設備	自主点検	2回/年						●						●		消防法
高圧ガス製造設備	自主点検	1回/年	●							●						高圧ガス保安法
医療ガス設備	定期点検	4回/年		●				●			●			●		高圧ガス保安法
特定施設（水質測定）	定期点検	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	下水道法
ばい煙測定	定期検査	2回/年			●							●				大気汚染防止法
特高受変電設備定期検査	定期検査	1回/年									●					電気事業法
高圧受変電設備定期検査	定期検査	1回/年									●					電気事業法
無停電電源設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年										●				電気事業法
（非常用照明）	定期検査	（1回/年）										●				電気事業法
直流電源設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年										●				電気事業法
電力中央監視設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年											●			電気事業法※設備更新の為R4年度未実施
建築設備定期検査	定期検査	1回/年								●						建築基準法
受水槽・高架水槽定期清掃	定期検査	1回/年							●	●						水道法
飲料水水質検査	定期検査	2回/年							●						●	水道法
害虫定期駆除	定期検査	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ビル管理法

機能維持に関する保守管理等	管理種別	周期	令和4年度												関連法規及び保守管理基準
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
放送呼出装置	自主点検	2回/年					●						●		消防法
ナースコール・インターホン設備	自主点検	2回/年				●						●			メーカー標準点検
昇降機設備	自主点検	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	建築基準法
冷凍機設備	自主点検	3回/年	●				●							●	メーカー標準点検
冷却塔設備	自主点検	2回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	自主点検
空気調和設備	機能点検	2回/年	●	●			●			●			●		自主点検
空調自動制御設備	自主点検	1回/年		●						●		●			メーカー標準点検
パッケージ点検	定期点検	1回/3年						●							フロン排出抑制法
チラー点検	定期点検	1回/年			●					●					フロン排出抑制法
各種水槽設備	清掃	1回/年		●	●	●									横浜市条例
検査系排水処理設備	定期点検	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	メーカー標準点検
R1排水処理設備	自主点検	2回/年	●						●						放射線障害防止法
自動ドア設備	自主点検	2回/年				●						●			メーカー標準点検
駐車場管制設備	自主点検	2回/年				●						●			メーカー標準点検
搬送設備	自主点検	2回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	メーカー標準点検
冷却塔補給水薬注装置	自主点検	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	自主点検
厨房グリフィルター定期清掃業務	清掃	4回/年			●			●			●			●	自主管理
厨房グリストラップ定期清掃業務	清掃	6回/年	●	●		●		●	●	●		●		●	ビル管理法

その他の保守管理業務	管理種別	実施回数	令和4年度												関連法規及び保守管理基準	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
空調機等フィルター交換（洗浄）	洗浄	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	汚れが認められたら交換
窓清掃	清掃	2回/年				●				●				●	汚れにより適宜行う	
エチレンオキsid環境測定	定期点検	2回/年			●						●				労働安全衛生法	
ホルムアルデヒド作業環境測定	定期点検	2回/年			●						●				労働安全衛生法	

8-4 外部委託（令和4年度）

	委託業務の名称	主な業務内容	受託者（会社名）	主管部署
1	食事療養提供業務	患者用給食の調理、給食材料管理補助、食器洗浄等衛生管理補助、配膳・下膳業務	富士産業株式会社	栄養課
2	中央材料室洗浄・滅菌業務、手術室サポート業務、内視鏡室洗浄・消毒業務	使用済器材の回収・洗浄・滅菌・供給業務、手術室術間清掃業務	日本ステリ株式会社	調度課
3	検体検査業務	検体検査業務	株式会社ビー・エム・エル	検査部
4	検体検査業務	検体検査業務	株式会社エスアールエル	検査部
5	検体検査業務	検体検査業務	株式会社L S I メディエンス	検査部
6	患者用ベッド洗浄業務	ベッド等の清拭・定期点検業務	株式会社柴橋商会	調度課
7	寝具賃貸借及び洗濯業務	患者用寝具・職員当直用寝具賃貸借業務、洗濯全般業務	株式会社サンビームランドリー	調度課
8	白衣等リース業務	看護師、看護助手の白衣及びタオルのリース	株式会社柴橋商会	調度課
9	白衣等リース業務	医師、メディカルクラークの白衣のリース	株式会社サンビームランドリー	調度課
10	S P D物流管理サービス業務	医療材料の物流管理業務	株式会社ホスピタルパートナーズ	調度課
11	医薬品院内物流管理業務	購買管理補助業務、薬品在庫管理業務、配置定数薬の補充管理業務、搬送業務等	東邦薬品株式会社	薬剤部
12	手術室コンサルティング業務	オペキットの供給、手術室の効率運営システム	株式会社ホギメディカル	調度課
13	心カテ室等における立会い業務	PM・ICD・CRT-D・CRT-P植込み、フォローアップ等	株式会社A P E X	調度課
14	医事関連業務	外来部門の計算・受付・クラーク業務及び保険請求関連業務	株式会社ソラスト	医事課
15	企画情報課（医療情報システム）関連業務	職員からの問合せ対応、マスタメンテナンス、操作訓練等	株式会社ソラスト	企画情報課
16	治験事務関連業務	治験事務局支援業務及び治験審査委員会事務局支援業務	ノイエス株式会社	薬剤部
17	院内保育所運営業務	職員子女の保育業務	株式会社ポピンズ	総務課
18	施設管理	施設設備の運転及び点検業務	T M E S 株式会社	施設課
19	警備業務	院内外の警備業務	株式会社K S P	施設課
20	清掃業務	外回り外来部門・病棟・手術室・事務室等院内清掃業務	T M E S 株式会社	施設課
21	産業廃棄物処理業務	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	株式会社神奈川保健事業社	施設課
22	一般廃棄物処理業務	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	株式会社神奈川保健事業社	施設課
23	感染性廃棄物収集運搬処理業務	院内から出される感染性廃棄物の収集運搬及び処理業務	株式会社トキワ薬品化工	施設課
24	医薬品（医療ガス）供給業務	医療用液体酸素・医療用液体窒素・医療用酸素ガス等の供給業務	株式会社イワサワ	施設課
25	統計解析業務	A R M S 及び喘息日誌症例データ解析	小松研究事務所	アレルギーセンター
26	データ保管業務	診療録保管業務	株式会社寿製作所	企画情報課
27	緑地維持管理業務	院内緑地の剪定・除草・芝刈り業務	株式会社愛花園	施設課
28	被ばく線量測定業務	ルクセルバッジ・リングバッジ測定	長瀬ランダウア株式会社	放射線科
29	医療廃棄物処理業務	医療廃棄物処理業務	横浜綿布工業株式会社	施設課
30	病棟病室床頭台・ランドリー管理業務	病棟病室床頭台（TV・冷蔵庫）・コインランドリー保守管理業務	株式会社パースジャパン	施設課

※派遣・保守に関する業務、倉庫借用に伴う業務を除く

9 經營報告

9-1 稼働状況等報告

令和4年度

診療科別患者数等管理数値

診療科	外来(243日)										入院(365日)										救急患者					
	新患者数				延患者数				1日平均		新入院数				延患者数				1日平均		在院日数		全体	救急車	入院	入院率
	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	当年度	前年度				
総合内科	446	502	-56	-11.2%	1,071	942	129	13.7%	4.4	3.9	240	198	42	21.2%	400	305	95	31.1%	1.1	0.8	3.1	2.8	327	297	296	90.5%
糖尿病内分泌内科	489	527	-38	-7.2%	12,481	13,114	-633	-4.8%	51.4	54.2	318	356	-38	-10.7%	7,012	5,736	1,276	22.2%	19.2	15.7	12.2	10.5	96	83	86	89.6%
血液内科	194	171	23	13.5%	5,533	4,784	749	15.7%	22.8	19.8	375	360	15	4.2%	7,688	7,268	420	5.8%	21.1	19.9	17.7	17.6	52	43	50	96.2%
腎臓内科	251	237	14	5.9%	7,016	7,493	-477	-6.4%	28.9	31.0	315	356	-41	-11.5%	6,299	5,871	428	7.3%	17.3	16.1	11.2	10.8	98	83	95	96.9%
膠原病リウマチ科	196	229	-33	-14.4%	9,690	9,507	183	1.9%	39.9	39.3	82	85	-3	-3.5%	2,902	2,942	-40	-1.4%	8.0	8.1	16.5	17.3	18	17	15	83.3%
緩和ケア内科	0	0	0	0.0%	93	91	2	2.2%	2.0	1.9	0	0	0	0.0%	30	12	18	150.0%	0.1	0.0	(29.0)	(2.8)	0	0	0	0.0%
呼吸器内科	963	737	226	30.7%	12,773	11,489	1,284	11.2%	52.6	47.5	1,142	956	186	19.5%	16,866	14,001	2,865	20.5%	46.2	38.4	11.2	10.4	824	742	767	93.1%
消化器内科	1,955	2,045	-90	-4.4%	26,598	25,118	1,480	5.9%	109.5	103.8	2,070	2,015	55	2.7%	21,026	18,783	2,243	11.9%	57.6	51.5	8.8	8.4	979	741	878	89.7%
循環器内科	1,442	1,355	87	6.4%	19,369	18,798	571	3.0%	79.7	77.7	1,636	1,526	110	7.2%	13,433	12,500	933	7.5%	36.8	34.2	5.6	5.8	579	473	477	82.4%
脳神経内科	643	618	25	4.0%	8,097	7,645	452	5.9%	33.3	31.6	534	599	-65	-10.9%	9,446	9,719	-273	-2.8%	25.9	26.6	11.8	11.6	287	254	279	97.2%
アレルギー科	246	229	17	7.4%	4,482	4,512	-30	-0.7%	18.4	18.6	14	33	-19	-57.6%	54	112	-58	-51.8%	0.1	0.3	2.2	2.2	14	14	10	71.4%
小児科	2,554	1,924	630	32.7%	10,656	9,414	1,242	13.2%	43.9	38.9	850	703	147	20.9%	3,668	2,635	1,033	39.2%	10.0	7.2	4.0	3.2	1,947	1,161	323	16.6%
外科	456	484	-28	-5.8%	8,419	8,514	-95	-1.1%	34.6	35.2	882	1,014	-132	-13.0%	8,797	9,742	-945	-9.7%	24.1	26.7	7.1	6.1	210	127	167	79.5%
乳腺外科	463	520	-57	-11.0%	9,119	9,251	-132	-1.4%	37.5	38.2	265	252	13	5.2%	2,147	2,102	45	2.1%	5.9	5.8	7.2	7.3	16	11	10	62.5%
呼吸器外科	24	20	4	20.0%	1,875	2,033	-158	-7.8%	12.8	14.2	71	44	27	61.4%	1,162	498	664	133.3%	3.2	1.4	7.9	3.8	4	4	4	100.0%
心臓血管外科	189	171	18	10.5%	2,847	2,740	107	3.9%	19.4	19.2	242	232	10	4.3%	4,276	4,559	-283	-6.2%	11.7	12.5	6.9	5.9	68	57	62	91.2%
脳神経外科	429	461	-32	-6.9%	2,824	2,827	-3	-0.1%	19.2	19.8	392	352	40	11.4%	6,885	6,318	567	9.0%	18.9	17.3	10.3	10.0	343	298	296	86.3%
整形外科	1,888	1,984	-96	-4.8%	22,316	21,752	564	2.6%	91.8	89.9	1,215	1,207	8	0.7%	17,293	17,135	158	0.9%	47.4	46.9	10.8	10.5	423	338	342	80.9%
形成外科	277	269	8	3.0%	3,140	2,767	373	13.5%	16.3	14.3	147	120	27	22.5%	3,168	1,937	1,231	63.6%	8.7	5.3	18.3	12.5	12	7	10	83.3%
皮膚科	711	727	-16	-2.2%	7,555	8,030	-475	-5.9%	31.1	34.3	143	128	15	11.7%	1,798	1,319	479	36.3%	4.9	3.6	10.2	8.0	50	22	33	66.0%
泌尿器科	849	840	9	1.1%	11,698	11,106	592	5.3%	48.1	45.9	928	813	115	14.1%	7,984	6,884	1,100	16.0%	21.9	18.9	8.0	7.8	166	89	107	64.5%
産婦人科	1,154	1,301	-147	-11.3%	18,937	19,124	-187	-1.0%	77.9	79.0	942	1,003	-61	-6.1%	7,198	8,731	-1,533	-17.6%	19.7	23.9	6.7	7.8	519	78	335	64.5%
眼科	391	438	-47	-10.7%	9,588	9,140	448	4.9%	39.5	37.8	316	300	16	5.3%	663	888	-225	-25.3%	1.8	2.4	1.0	2.1	5	2	0	0.0%
耳鼻いんこう科	1,419	1,492	-73	-4.9%	13,570	13,723	-153	-1.1%	55.8	56.7	343	355	-12	-3.4%	3,485	3,849	-364	-9.5%	9.5	10.5	8.3	8.9	56	27	37	66.1%
リハビリテーション科	3	0	3	0.0%	30	111	-81	-73.0%	0.3	0.0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	1	0	0	0.0%
精神科	296	316	-20	-6.3%	11,444	11,098	346	3.1%	58.4	56.3	169	194	-25	-12.9%	8,704	8,525	179	2.1%	23.8	23.4	47.1	38.2	42	13	38	90.5%
放射線診断科	204	202	2	1.0%	216	264	-48	-18.2%	1.6	1.4	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0%
放射線治療科	9	30	-21	-70.0%	2,858	4,606	-1,748	-38.0%	14.6	23.9	17	33	-16	-48.5%	255	519	-264	-50.9%	0.7	1.4	12.6	13.7	0	0	0	0.0%
歯科口腔外科	2,473	2,380	93	3.9%	15,678	14,906	772	5.2%	64.5	61.6	412	384	28	7.3%	710	682	28	4.1%	1.9	1.9	1.5	0.8	4	3	1	25.0%
救急科	10,812	8,857	1,955	22.1%	14,458	11,853	2,605	22.0%	39.6	32.5	841	733	108	14.7%	10,185	8,114	2,071	25.5%	27.9	22.2	7.9	6.9	13,768	9,773	886	6.4%
麻酔科	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0%
合計	31,426	29,066	2,360	8.1%	274,431	266,752	7,679	2.9%	1,129.3	1,102.3	14,901	14,351	550	3.8%	173,534	161,686	11,848	7.3%	475.4	443.0	8.8	8.3	20,908	14,757	5,604	26.8%
令和4年度	病床利用率(634床)… 75.0%				紹介割合… 107.1%				逆紹介割合… 79.7%				分娩件数… 518件				単純に計算した入院日数紹介割合… 10.61日				令和3年度	17,935	12,076	5,138	28.6%	
令和3年度	病床利用率(634床)… 69.9%				紹介率… 79.7%				逆紹介率… 107.5%				分娩件数… 566件				単純に計算した入院日数紹介割合… 10.29日				増減	2,973	2,681	466	-1.8%	

令和4年度

診療科別患者数等管理数値

診療科	外来診療収入								入院診療収入								入外合計額				手術					
	診療収入				収入単価				診療収入				診療収入(室料差額除)				収入単価									
	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度
総合内科	13,229	12,151	1,078	8.9%	12,352	12,899	-547	-4.2%	39,514	24,483	15,031	61.4%	38,290	23,580	14,711	62.4%	95,726	77,310	18,416	23.8%	52,743	36,633	16,109	44.0%	0	0
糖尿病内分泌内科	215,599	224,508	-8,909	-4.0%	17,274	17,120	154	0.9%	376,034	296,824	79,210	26.7%	363,577	287,034	76,542	26.7%	51,851	50,041	1,810	3.6%	591,633	521,332	70,301	13.5%	0	0
血液内科	244,435	238,662	5,773	2.4%	44,178	49,888	-5,710	-11.4%	675,184	586,982	88,201	15.0%	660,524	570,951	89,573	15.7%	85,916	78,557	7,359	9.4%	919,619	825,644	93,975	11.4%	0	0
腎臓内科	159,953	183,039	-23,087	-12.6%	22,798	24,428	-1,630	-6.7%	409,604	348,219	61,385	17.6%	393,733	335,926	57,807	17.2%	62,507	57,218	5,289	9.2%	569,557	531,259	38,298	7.2%	98	122
膠原病リウマチ科	299,581	315,373	-15,792	-5.0%	30,917	33,173	-2,256	-6.8%	168,376	158,479	9,897	6.2%	161,629	150,106	11,523	7.7%	55,696	51,022	4,674	9.2%	467,957	473,852	-5,895	-1.2%	0	0
緩和ケア内科	252	320	-68	-21.4%	2,708	3,519	-811	-23.0%	1,199	891	308	34.6%	1,147	855	292	34.1%	38,219	71,236	-33,017	-46.3%	1,451	1,211	240	19.8%	0	0
呼吸器内科	343,050	322,572	20,477	6.3%	26,857	28,077	-1,219	-4.3%	1,189,009	1,206,050	-17,040	-1.4%	1,128,235	1,156,507	-28,272	-2.4%	66,894	82,602	-15,708	-19.0%	1,532,059	1,528,622	3,437	0.2%	0	0
消化器内科	484,669	416,816	67,853	16.3%	18,222	16,594	1,628	9.8%	1,434,977	1,200,562	234,415	19.5%	1,359,813	1,143,687	216,126	18.9%	64,673	60,889	3,783	6.2%	1,919,647	1,617,379	302,268	18.7%	2	7
循環器内科	242,219	235,132	7,086	3.0%	12,505	12,508	-3	-0.0%	2,610,775	2,446,097	164,678	6.7%	2,570,804	2,409,166	161,638	6.7%	191,380	192,733	-1,354	-0.7%	2,852,994	2,681,229	171,764	6.4%	203	261
脳神経内科	233,250	206,827	26,422	12.8%	28,807	27,054	1,753	6.5%	615,843	588,445	27,398	4.7%	600,382	570,216	30,166	5.3%	63,559	58,670	4,889	8.3%	849,092	795,272	53,820	6.8%	0	0
アレルギー科	41,037	46,963	-5,926	-12.6%	9,156	10,408	-1,252	-12.0%	3,293	7,630	-4,338	-56.8%	3,258	7,048	-3,791	-53.8%	60,325	62,933	-2,608	-4.1%	44,330	54,593	-10,263	-18.8%	0	0
小児科	112,996	84,758	28,238	33.3%	10,604	9,003	1,601	17.8%	210,700	136,787	73,913	54.0%	208,071	136,301	71,770	52.7%	56,726	51,727	4,999	9.7%	323,696	221,545	102,151	46.1%	0	0
外科	235,073	277,614	-42,541	-15.3%	27,922	32,607	-4,685	-14.4%	888,650	921,760	-33,109	-3.6%	855,341	889,728	-34,387	-3.9%	97,231	91,329	5,902	6.5%	1,123,723	1,199,374	-75,650	-6.3%	701	760
乳腺外科	348,090	343,603	4,487	1.3%	38,172	37,142	1,030	2.8%	228,326	211,645	16,681	7.9%	215,604	198,810	16,794	8.4%	100,421	94,582	5,840	6.2%	576,416	555,248	21,168	3.8%	264	246
呼吸器外科	34,816	28,783	6,033	21.0%	18,569	14,158	4,411	31.2%	127,881	76,871	51,010	66.4%	123,986	74,953	49,033	65.4%	106,700	150,507	-43,807	-29.1%	162,698	105,654	57,043	54.0%	87	59
心臓血管外科	30,702	29,060	1,642	5.6%	10,784	10,606	178	1.7%	1,154,649	1,024,470	130,179	12.7%	1,143,131	1,014,427	128,704	12.7%	267,336	222,511	44,826	20.1%	1,185,351	1,053,530	131,820	12.5%	257	250
脳神経外科	37,004	35,720	1,284	3.6%	13,103	12,635	468	3.7%	645,648	581,744	63,904	11.0%	632,129	571,710	60,419	10.6%	91,813	90,489	1,323	1.5%	682,651	617,464	65,187	10.6%	180	164
整形外科	195,946	191,398	4,548	2.4%	8,781	8,799	-19	-0.2%	1,584,798	1,567,193	17,605	1.1%	1,544,968	1,521,021	23,948	1.6%	89,341	88,767	574	0.6%	1,780,744	1,758,591	22,153	1.3%	1,374	1,315
形成外科	18,721	16,165	2,557	15.8%	5,962	5,842	120	2.1%	193,928	129,259	64,668	50.0%	187,758	123,964	63,794	51.5%	59,267	63,998	-4,731	-7.4%	212,649	145,424	67,225	46.2%	373	288
皮膚科	40,344	39,423	921	2.3%	5,340	4,910	431	8.8%	92,553	65,250	27,303	41.8%	87,940	61,771	26,170	42.4%	48,910	46,832	2,079	4.4%	132,897	104,673	28,224	27.0%	163	152
泌尿器科	241,875	225,675	16,200	7.2%	20,677	20,320	357	1.8%	636,913	529,563	107,351	20.3%	606,199	506,090	100,109	19.8%	75,927	73,517	2,410	3.3%	878,788	755,238	123,551	16.4%	585	530
産婦人科	159,822	156,382	3,440	2.2%	8,440	8,177	262	3.2%	677,490	749,404	-71,914	-9.6%	645,470	715,789	-70,320	-9.8%	89,673	81,983	7,691	9.4%	837,312	905,786	-68,474	-7.6%	354	380
眼科	93,091	93,685	-594	-0.6%	9,709	10,250	-541	-5.3%	73,472	75,934	-2,461	-3.2%	71,710	73,463	-1,753	-2.4%	108,160	82,729	25,432	30.7%	166,563	169,619	-3,056	-1.8%	416	410
耳鼻いんこう科	164,263	174,152	-9,889	-5.7%	12,105	12,691	-586	-4.6%	250,924	252,942	-2,018	-0.8%	236,178	239,897	-3,719	-1.6%	67,770	62,327	5,443	8.7%	415,188	427,094	-11,906	-2.8%	225	211
リハビリテーション科	103	422	-319	-75.6%	3,427	3,802	-375	-9.9%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	103	422	-319	-75.6%	0	0
精神科	74,152	70,821	3,332	4.7%	6,480	6,381	98	1.5%	325,204	309,246	15,957	5.2%	319,513	303,484	16,029	5.3%	36,709	35,599	1,109	3.1%	399,356	380,067	19,289	5.1%	416	355
放射線診断科	17,571	19,157	-1,586	-8.3%	81,347	72,564	8,783	12.1%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	17,571	19,157	-1,586	-8.3%	0	0
放射線治療科	78,689	106,709	-28,020	-26.3%	27,533	23,167	4,366	18.8%	17,425	36,170	-18,744	-51.8%	17,089	34,372	-17,283	-50.3%	67,017	66,228	789	1.2%	96,115	142,879	-46,764	-32.7%	0	0
歯科口腔外科	120,827	114,241	6,585	5.8%	7,707	7,664	43	0.6%	59,578	51,678	7,899	15.3%	58,256	50,153	8,103	16.2%	82,051	73,537	8,513	11.6%	180,404	165,920	14,485	8.7%	405	377
救急科	423,226	288,850	134,376	46.5%	29,273	24,369	4,903	20.1%	1,172,045	1,305,078	-133,033	-10.2%	1,161,688	1,297,130	-135,442	-10.4%	114,059	159,863	-45,804	-28.7%	1,595,271	1,593,928	1,343	0.1%	1	5
麻酔科	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0
合計	4,704,585	4,498,983	205,602	4.6%	17,143	16,866	277	1.6%	15,863,993	14,889,658	974,335	6.5%	15,396,422	14,468,137	928,285	6.4%	88,723	89,483	-760	-0.8%	20,568,578	19,388,641	1,179,937	6.1%	6,104	5,892

健診	単位/千円		人間ドック 件数 金額		健康診断 件数 金額		合計 件数 金額	
	令和4年度		2,368	169,187	9,372	72,807	11,740	241,994
	令和3年度		2,333	160,176	9,269	72,044	11,602	232,220
	増減		35	9,011	103	763	138	9,774
増減率		1.5%	5.6%	1.1%	1.1%	1.2%	4.2%	

9-2 中央部門業務報告

中央部門業務報告 (放射線科部)

令和4年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般撮影 (平日)	胸腹・骨等	3479	3580	3949	3659	3688	3863	3791	3913	3977	3906	4025	4436	46266
	マンマ	169	159	210	202	216	230	244	216	214	245	205	205	2515
	マンモトーム	5	8	7	8	6	6	8	10	7	7	5	5	82
	骨密度	173	181	169	213	227	219	193	214	199	204	194	229	2415
	パノラマ	178	171	148	206	180	182	184	191	156	139	157	167	2059
	ポータブル	774	728	718	920	1136	1033	808	855	1085	1056	803	739	10655
フィルム関係	取り込み	301	323	318	282	301	283	318	318	384	317	343	731	4219
	出力	401	379	405	473	476	455	430	473	509	531	512	549	5593
	計	5480	5529	5924	5963	6230	6271	5976	6190	6531	6405	6244	7061	73804
救急外来 (平日)	一般撮影	193	196	187	191	237	179	140	182	269	214	206	169	2363
	救急CT	177	232	213	266	329	231	191	214	313	228	249	189	2832
	計	370	428	400	457	566	410	331	396	582	442	455	358	5195
一般/CT 病棟 (休日・夜勤)	一般撮影	102	100	78	92	78	113	109	102	147	126	101	75	1223
	CT	47	66	45	57	32	38	36	44	58	57	107	51	638
	ポータブル	381	449	337	492	342	381	352	416	538	515	858	423	5484
	計	530	615	460	641	452	532	497	562	743	698	1066	549	7345
救急外来 (休日・夜勤)	一般撮影	575	674	593	674	599	600	646	685	817	680	1266	597	8406
	救急CT	741	783	714	936	907	792	797	863	1057	886	1608	754	10838
	MRI	38	36	19	42	42	31	35	42	47	37	74	28	471
	血管撮影	15	12	11	12	13	8	12	9	16	13	25	16	162
	TV 造影/透視	19	8	5	14	11	5	7	4	15	4	12	10	114
	その他	132	152	130	189	201	198	166	179	241	212	395	164	2359
	計	1520	1665	1472	1867	1773	1634	1663	1782	2193	1832	3380	1569	22350
手術室	ポータブル	188	169	181	190	184	201	206	200	214	196	196	218	2343
	術中イメージ	4	3	1	5	3	8	10	5	5	8	3	2	57
	計	192	172	182	195	187	209	216	205	219	204	199	220	2400
CT	外来	1304	1067	1454	1339	1268	1430	1385	1332	1466	1446	1247	1616	16354
	入院	476	405	499	478	453	481	411	455	530	489	468	486	5631
	造影検査件数	567	503	626	561	561	641	581	564	639	597	515	665	7020
	計	1780	1472	1953	1817	1721	1911	1796	1787	1996	1935	1715	2102	21985
TV室	胃TV (術後含)	28	37	60	63	75	68	62	37	51	46	74	68	669
	注腸 (術後含)	0	4	1	1	4	3	6	3	2	5	1	3	33
消化器内科系	内視鏡併用検査	68	43	55	60	45	61	40	67	65	56	58	61	679
	造影/その他	20	21	24	16	16	11	13	19	32	29	15	12	228
外科系	内視鏡併用検査	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	6
	造影/その他	19	19	18	16	19	27	57	28	28	18	17	24	290
泌尿器系	内視鏡併用検査	28	16	16	20	19	21	25	24	24	27	24	31	275
	造影/その他	26	20	21	29	28	23	28	19	21	24	29	33	301
整形系	ミエロ・ブロック/造影	17	24	20	18	16	20	17	29	13	24	20	23	241
	透視/その他	3	8	1	4	5	3	2	2	2	3	0	8	41
他診療科	造影/透視/その他	21	17	12	20	12	13	18	26	19	13	18	16	205
	計	231	209	230	248	239	250	268	254	258	245	256	280	2968
血管撮影室	頭腹部系	17	13	19	13	18	16	14	17	10	15	17	22	191
	心臓系	150	137	167	109	108	132	135	109	149	127	122	176	1621
	その他	23	31	27	21	20	27	22	29	23	18	23	27	291
	計	190	181	213	143	146	175	171	155	182	160	162	225	2103
ハイブリッド室	頭腹部系	2	5	2	3	0	2	0	2	3	4	1	4	28
	心臓系	25	22	24	23	27	24	6	25	19	18	21	22	256
	整形系	1	0	4	2	4	5	10	4	4	7	5	2	48
	その他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	4
	計	28	27	30	28	31	32	17	31	26	29	28	29	336
MRI	外来	616	609	682	650	647	626	642	661	642	643	649	696	7763
	入院	96	136	144	128	118	106	101	116	151	131	100	137	1464
	造影検査件数	125	130	134	130	118	124	106	121	128	117	112	133	1478
	計	712	745	826	778	765	732	743	777	793	774	749	833	9227
R I	R I 計	129	126	130	108	99	107	123	125	139	124	110	123	1443
PET・CT	PET・CT 計	87	61	101	105	74	69	73	79	72	80	76	84	961
治療	新規計画人数 計	27	26	19	21	26	26	19	10	1	0	0	0	175
	治療件数 計	583	734	629	468	609	595	485	259	132	0	0	0	4494

中央部門業務報告(臨床検査部)

令和4年度

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
検体検査	一般(フランチ)	件数(項目数)	8,528	8,454	9,602	9,443	9,742	9,955	8,910	9,056	9,493	9,325	8,509	9,906	110,923	
	血液	件数(検体数)	21,317	21,357	22,330	22,800	22,357	23,262	21,728	22,163	24,216	23,417	26,822	23,936	275,705	
	血液凝固(フランチ)	件数(項目数)	8,455	8,315	8,570	7,868	8,849	8,675	8,001	8,680	10,115	9,203	10,087	8,978	105,796	
	生化学(フランチ)	件数(項目数)	175,974	173,245	185,140	186,676	185,457	192,630	178,550	182,745	199,665	193,346	173,644	192,835	2,219,907	
	免疫血清(フランチ)	件数(項目数)	6,957	7,171	8,060	7,731	7,923	8,019	7,708	8,023	8,477	8,071	7,579	8,579	94,298	
	一般細菌	件数(検体数)	1,685	1,783	1,625	1,959	2,235	1,925	1,569	1,910	2,248	2,248	1,576	1,656	22,419	
	栄養課職員便検査	従事者数	15	15	30	30	30	30	15	15	15	15	15	15	240	
	抗酸菌	件数(検体数)	103	118	120	131	153	94	96	101	108	121	87	103	1,335	
	迅速検査(フランチ)	件数(検体数)	186	146	157	206	255	182	148	223	259	340	270	259	2,631	
	血液ガス(フランチ)	件数(検体数)	1,574	1,513	1,641	1,765	1,779	1,712	1,577	1,704	1,978	1,788	1,889	1,615	20,535	
	合計	件数	224,794	222,117	237,275	238,609	238,780	246,484	228,302	234,620	256,574	247,874	230,478	247,882	2,853,789	
	生理検査	心電図	件数	2,494	2,574	2,789	2,606	2,631	2,803	2,601	2,758	3,020	2,812	2,723	2,997	32,808
		負荷心電図	件数	10	7	10	19	14	8	8	6	9	6	4	12	113
ホルター心電図		件数	105	112	126	84	95	101	110	105	98	97	98	123	1,254	
血圧脈波検査		件数	101	120	140	125	100	91	99	97	101	104	112	134	1,324	
自律神経検査		件数	22	25	23	28	20	26	27	20	22	27	21	25	286	
呼吸機能		件数	152	157	157	120	141	125	120	145	116	134	136	145	1,648	
筋電図検査		件数	4	8	5	1	7	6	2	6	3	3	8	5	58	
脳波		件数	68	55	68	67	68	59	50	67	55	58	55	59	729	
神経生理検査		件数	50	65	84	77	65	80	73	80	50	55	62	74	815	
OAE		件数	60	45	55	50	78	49	56	50	45	21	43	49	601	
体液量測定		件数	3	6	14	7	7	7	5	8	5	2	6	3	73	
SPP		件数	5	9	7	4	5	6	9	9	7	9	6	11	87	
耳鼻科検査		件数	728	671	851	654	761	735	733	662	791	677	645	686	8,594	
心エコー		件数	681	673	732	602	595	623	630	627	647	650	619	715	7,794	
その他エコー		件数	850	859	1,046	980	981	1,018	955	936	979	939	926	1,018	11,487	
心カテ		件数	143	134	160	111	122	127	127	109	134	120	122	141	1,550	
アレルギー		件数	177	184	296	213	82	203	198	238	215	199	186	233	2,424	
合計	件数	5,653	5,704	6,563	5,748	5,772	6,067	5,803	5,923	6,297	5,913	5,772	6,430	71,645		
病理検査	組織診断	件数	606	573	673	640	620	619	679	679	627	602	639	732	7,689	
	迅速診断	件数	24	19	30	18	25	34	22	21	30	24	24	39	310	
	細胞診断	件数	359	342	423	408	427	465	422	395	443	421	334	439	4,878	
	その他	件数	65	60	72	61	53	62	63	62	63	66	61	70	758	
	病理解剖	件数	4	1	1	3	2	2	0	1	1	3	3	1	22	
	合計	件数	1,058	995	1,199	1,130	1,127	1,182	1,186	1,097	1,164	1,116	1,061	1,281	13,596	
輸血関連検査	血液型	件数	676	733	684	721	717	708	666	746	777	731	730	760	8,649	
	不規則抗体	件数	660	694	719	743	770	757	708	748	769	760	747	724	8,799	
	クロスマッチ	件数	413	391	428	466	434	419	431	394	468	438	426	359	5,067	
	その他	件数	28	24	25	34	35	38	23	41	23	47	44	26	388	
	合計	件数	1,777	1,842	1,856	1,964	1,956	1,922	1,828	1,929	2,037	1,976	1,947	1,869	22,903	
	Ir-RBC	単位	758	675	732	718	714	686	629	750	806	740	769	830	8,807	
	FFP	単位	291	381	1,011	498	549	672	381	396	738	324	351	495	6,087	
	Ir-PC	単位	1,475	955	1,180	1,205	1,470	1,390	1,695	1,785	1,375	1,445	1,050	845	15,870	
	自己血	単位	0	2	4	2	0	0	8	12	4	0	2	0	34	
	合計	単位	2,524	2,013	2,927	2,423	2,733	2,748	2,713	2,943	2,923	2,509	2,172	2,170	30,798	
アレルギー	NIOX	件数	138	154	225	163	42	163	149	179	175	164	146	170	1,868	
	モストグラフ	件数	17	10	23	19	13	19	22	21	16	13	16	26	215	
	スパイロメトリー	件数	14	8	24	11	11	12	16	17	13	11	15	21	173	
	可逆性検査	件数	0	4	3	4	6	1	4	7	3	6	4	7	49	
	ブリックテスト	件数	8	8	21	16	10	8	7	14	8	5	5	9	119	
	精密肺機能	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	件数	177	184	296	213	82	203	198	238	215	199	186	233	2,424	
時間外院内検査	患者数	2,531	2,552	2,307	2,878	2,626	2,684	2,483	2,618	3,255	2,985	2,287	2,400	31,606		
外来採血患者	患者数	5,822	5,600	6,279	6,206	5,957	6,552	5,992	6,063	6,192	6,045	5,725	6,848	73,281		
入院患者採血管準備数	患者数	4,333	3,837	3,841	4,367	4,205	4,609	4,307	4,296	4,844	4,510	4,234	4,262	51,645		
尿素呼気試験	患者数	13	24	14	21	17	19	19	20	19	19	16	14	215		
治験件数	患者数	8	14	17	11	13	14	15	19	24	23	16	22	196		
委託業務	院内検査業務委託	件数(項目数)	73,873	71,859	76,743	79,840	76,311	78,838	73,682	78,215	84,213	80,863	73,969	81,188	929,594	
	外注検査業務委託	件数(項目数)	11,714	10,179	12,395	11,905	11,047	11,382	11,785	10,687	12,976	10,312	10,886	12,925	138,193	
診療連携	心臓カテーテル検査に3名、耳鼻科に1名、アレルギーセンターに1名、それぞれ検査技師を派遣している。ハイブリッドオペ室の稼働により心臓カテーテルの派遣が2から3へ増えた。最近では同時に4列で稼働することもある。															

中央部門業務報告(処方箋枚数)

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院 処方	9,486	8,860	9,447	8,732	8,917	9,769	9,502	9,621	10,095	9,739	9,121	9,366	112,655
入院 注射	10,608	11,775	12,176	12,880	12,479	13,084	12,192	11,601	13,907	14,121	11,964	12,038	148,825
外来 処方	49	49	47	107	119	62	41	63	78	72	49	59	795
外来 時間外処方	411	462	431	832	626	517	471	530	699	585	400	430	6,394
外来 注射	1,932	2,045	2,094	2,149	2,213	2,064	2,086	2,376	2,261	2,109	1,973	2,177	25,479
院外処方箋	9,871	9,738	10,526	9,995	10,367	10,198	9,912	9,952	10,533	9,935	9,321	11,047	121,395
抗がん剤調製件数	539	529	544	498	567	491	528	550	503	562	543	614	6,468
TPN調製件数	19	36	66	84	14	8	30	41	39	26	86	104	553
薬剤管理指導算定件数	1,757	1,860	1,888	1,641	1,558	1,683	1,787	1,922	1,739	1,706	1,743	1,939	21,223
薬剤管理指導麻薬加算	37	39	47	35	32	41	32	36	36	28	28	39	430
退院時指導算定件数	665	612	726	705	467	685	683	727	718	603	639	795	8,025
がん指導管理料ハ算定件数	12	13	25	8	14	13	18	29	14	19	16	16	197
特定薬剤治療管理料2算定件数	10	11	12	10	12	12	10	13	10	10	10	14	134
連携充実加算算定件数	64	62	67	51	52	47	39	45	55	58	68	79	687

中央部門業務報告（栄養課）

令和 4年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般食	件数	18,334	17,443	17,439	18,818	17,572	19,442	19,929	19,288	19,979	20,969	18,555	18,189	225,957
治療食	件数	13,764	13,192	13,069	13,745	11,504	13,913	13,081	11,507	13,874	13,583	12,437	12,849	156,518
調乳	件数	235	234	266	318	425	280	364	357	400	275	343	307	3,804
栄養相談	件数	398	361	393	352	340	353	356	349	372	317	339	402	4,332
合計	件数	32,731	31,230	31,167	33,233	29,841	33,988	33,730	31,501	34,625	35,144	31,674	31,747	390,611

中央部門業務報告(リハビリテーション部)

令和4年度

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
リ ハ ビ リ	理学療法	件数	3,687	3,639	3,863	3,438	3,435	3,600	3,792	3,511	3,760	3,699	3,715	3,879	44,018
	作業療法	件数	1,581	1,706	1,721	1,358	1,478	1,512	1,540	1,502	1,539	1,474	1,407	1,426	18,244
	言語聴覚療法	件数	607	657	484	407	392	366	399	383	476	472	463	559	5,665
	合計	件数	5,875	6,002	6,068	5,203	5,305	5,478	5,731	5,396	5,775	5,645	5,585	5,864	67,927

中央部門業務報告(内視鏡室)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
上部消化管内視鏡	6,002	4,785	5,462	5,989
(内ドック件数)	2,115	1,805	2,030	2,157
下部消化管内視鏡	2,697	2,122	2,477	2,517
(内ドック件数)	145	101	130	141
気管支鏡	126	95	87	134
ERCP	481	371	370	411
超音波内視鏡	88	226	224	154

中央部門業務報告（透析室）

令和4年度

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
透析	血液浄化療法	件数	281	261	241	305	268	293	232	298	340	295	256	268	3,338

中央部門業務報告（手術室）

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全身麻酔	322	287	357	336	323	360	352	339	357	311	341	404	4,089
局所麻酔	139	140	154	131	126	152	148	138	124	145	143	150	1,690
脊椎麻酔	16	13	13	24	14	24	26	18	18	27	19	17	229
脊椎・硬膜外併用	11	7	14	9	9	7	11	10	4	6	1	7	96
合計	488	447	538	500	472	543	537	505	503	489	504	578	6,104

9-3 決算書

損益計算書 (令和4年度)

収 益	予算(A)	R4年決算(B)	R3年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	対昨年度増減率
みなと赤十字病院事業収益	21,278,236,000	22,176,208,193	23,171,924,374	897,972,193	-995,716,181	-4.30%
医療収益	20,513,777,000	20,650,856,829	19,376,251,298	137,079,829	1,274,605,531	6.58%
入院収益	15,216,976,000	15,291,012,699	14,298,371,314	74,036,699	992,641,385	6.94%
患者延べ数(人)	173,789	173,534	161,686	-255	11,848	7.33%
1日平均(人)	476	475	443	-1	32	7.33%
診療単価(円)	84,500	88,115	88,433	3,615	-318	-0.36%
病床利用率(%)	75.10%	74.99%	69.87%	-0.30%	3.01%	7.33%
平均在院数(日)			8.3		-8.30	-100.00%
外来収益	4,485,260,000	4,625,342,046	4,407,695,468	140,082,046	217,646,578	4.94%
患者延べ数(人)	268,927	274,431	266,752	5,504	7,679	2.88%
1日平均(人)	1,111	1,134	1,102	23	32	2.88%
診療単価(円)	16,678	16,854	16,524	176	331	2.00%
室料差額収益	440,665,000	395,146,270	363,072,020	-45,518,730	32,074,250	8.83%
保健予防活動収益	307,705,000	278,218,323	282,876,610	-29,486,677	-4,658,287	-1.65%
受託検査・施設利用収益	6,191,000	6,807,950	6,407,450	616,950	400,500	6.25%
その他の医療収益	116,100,000	113,886,387	108,264,828	-2,213,613	5,621,559	5.19%
保険等査定減	-59,120,000	-59,556,846	-90,436,392	-436,846	30,879,546	-34.15%
医療外収益(医療社会事業収益含む)	764,459,000	1,525,265,834	3,795,279,803	760,806,834	-2,270,013,969	-59.81%
受取利息	0	290,411	0	290,411	290,411	
本部繰入金	3,800,000	4,776,500	3,496,132	976,500	1,280,368	36.62%
他会計繰入金	0	0	585,000	0	-585,000	
運営費補助金等収益	370,163,000	1,110,917,003	3,412,542,342	740,754,003	-2,301,625,339	-67.45%
施設設備費補助金等収益	107,006,000	140,823,108	125,363,720	33,817,108	15,459,388	12.33%
患者外給食収益	0	0	0	0	0	
その他の医療外収益	283,490,000	268,458,812	253,292,609	-15,031,188	15,166,203	5.99%
特別利益	0	85,530	393,273	85,530	-307,743	-78.25%
固定資産売却益	0	85,530	393,273	85,530	-307,743	-78.25%
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0	
その他前期損益修正益	0	0	0	0	0	
その他特別利益	0	0	0	0	0	

費 用	予算(A)	R4年決算(B)	R3年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	対昨年度増減率
みなと赤十字病院事業費用	21,266,467,000	21,962,024,746	20,521,791,706	695,557,746	1,440,233,040	7.02%
医療費用	20,944,735,000	21,527,286,111	20,178,960,026	582,551,111	1,348,326,085	6.68%
材料費	5,895,659,000	6,032,239,804	5,608,421,378	136,580,804	423,818,426	7.56%
医薬品費	2,439,087,000	2,608,376,782	2,317,996,574	169,289,782	290,380,208	12.53%
診療材料費	3,235,023,000	3,189,315,317	3,079,234,448	-45,707,683	110,080,869	3.57%
給食材料費	118,980,000	124,674,308	113,905,734	5,694,308	10,768,574	9.45%
医療消耗品費	98,466,000	102,456,242	94,075,426	3,990,242	8,380,816	8.91%
棚卸減耗損・評価損	4,103,000	7,417,155	3,209,196	3,314,155	4,207,959	131.12%
給与費	10,252,090,000	10,398,869,905	9,783,296,616	146,779,905	615,573,289	6.29%
委託費	1,899,683,000	2,006,918,530	1,876,754,357	107,235,530	130,164,173	6.94%
設備関係費	2,133,891,000	2,143,689,803	2,086,191,328	9,798,803	57,498,475	2.76%
減価償却費	809,297,000	768,216,362	750,350,767	-41,080,638	17,865,595	2.38%
器械賃借料	96,815,000	101,664,653	94,768,162	4,849,653	6,896,491	7.28%
指定管理者負担金他	682,485,000	683,867,830	684,215,380	1,382,830	-347,550	-0.05%
修繕費	201,564,000	193,748,823	200,183,090	-7,815,177	-6,434,267	-3.21%
器械保守料	343,117,000	395,544,618	356,188,055	52,427,618	39,356,563	11.05%
その他	613,000	647,517	485,874	34,517	161,643	33.27%
研究研修費	40,650,000	43,874,724	31,786,680	3,224,724	12,088,044	38.03%
経費	722,762,000	901,693,345	792,509,667	178,931,345	109,183,678	13.78%
通信費	28,000,000	28,768,747	25,568,637	768,747	3,200,110	12.52%
消耗品費	70,000,000	72,738,499	74,980,034	2,738,499	-2,241,535	-2.99%
水道光熱費	376,000,000	578,634,633	410,490,387	202,634,633	168,144,246	40.96%
賃借料	55,000,000	52,125,362	53,724,885	-2,874,638	-1,599,523	-2.98%
租税公課	27,360,000	35,275,630	46,853,959	7,915,630	-11,578,329	-24.71%
その他	166,402,000	134,150,474	180,891,765	-32,251,526	-46,741,291	-25.84%
医療外費用(医療奉仕費用含む)	321,732,000	422,748,131	334,115,044	101,016,131	88,633,087	26.53%
支払利息	4,951,000	3,921,814	5,826,350	-1,029,186	-1,904,536	-32.69%
患者外給食用材料費	1,056,000	1,058,949	1,037,061	2,949	21,888	2.11%
看護師等委託養成費	16,200,000	15,400,000	19,400,000	-800,000	-4,000,000	-20.62%
診療費減免額	6,702,000	5,905,110	6,121,800	-796,890	-216,690	-3.54%
本部繰出金	19,279,000	19,376,251	21,682,716	97,251	-2,306,465	-10.64%
他会計繰出金	3,528,000	3,262,418	8,213,139	-265,582	-4,950,721	-60.28%
退職給付債務変更時差異	0	0	0	0	0	
その他医療外費用	270,016,000	373,823,589	271,833,978	103,807,589	101,989,611	37.52%
特別損失	0	11,990,504	8,716,636	11,990,504	3,273,868	37.56%
固定資産売却損	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	11,990,504	8,716,636	11,990,504	3,273,868	37.56%
前期損益修正損	0	0	0	0	0	
その他特別損失	0	0	0	0	0	
法人税等	0	0	0	0	0	

経常損益(特別収支を除いたもの)	11,769,000	226,088,421	2,658,456,031	214,319,421	-2,432,367,610	-91.50%
医療損益	-430,958,000	-876,429,282	-802,708,728	-445,471,282	-73,720,554	9.18%
純損益	11,769,000	214,183,447	2,650,132,668	202,414,447	-2,435,949,221	-91.92%

貸 借 対 照 表

令和5年 3月31日

(施設名) 横浜市立みなと赤十字病院

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 及 び 純 資 産 の 部			
1. 流動資産				1. 流動負債			
現金		3,963,841		買掛金	989,667,803		
預金		3,091,284,383		未払金	1,385,942,452		
医療未収金	3,536,735,183			短期借入金	337,600,000		
貸倒引当金	31,571,942	3,505,163,241		未払費用	72,321,557		
未収金		672,025,799		未払法人税等	0		
有価証券		0		前受金	9,133,854		
医薬品		66,753,663		預り金	12,390,137		
診療材料		0		職員預り金	63,840,781		
給食用材料		1,703,229		前受収益	0		
貯蔵品		63,254		賞与引当金	472,611,977		
前渡金		0		資産除去債務	0		
前払費用		41,731,618		その他の流動負債	160,676,636		
未収収益		2,729,497		流動負債合計		3,504,185,197	
短期貸付金		0					
繰延税金資産		0		2. 固定負債			
その他の流動資産		224,999,509		長期借入金	288,800,000		
流動資産合計			7,610,418,034	長期未払金	75,518,579		
				預り出資金	0		
2. 固定資産				退職交付受入金	0		
(1) 有形固定資産				退職給付引当金	5,351,105,791		
建物	128,259,810			医療訴訟引当金	0		
建物減価償却累計額	36,705,928	91,553,882		長期前受補助金等	423,116,691		
建物付属設備	1,052,165,279			資産除去債務	0		
建物付属設備減価償却累計額	492,362,581	559,802,698		その他の固定負債	0		
構築物	20,522,740			固定負債合計		6,138,541,061	
構築物減価償却累計額	15,196,235	5,326,505					
医療用器械備品	6,807,377,837			負債合計			9,642,726,258
医療用器械備品減価償却累計額	5,770,267,828	1,037,110,009		3. 基本金			
その他の器械備品	1,687,959,665					15,986,453	
その他の器械備品減価償却累計額	1,309,226,551	378,733,114		補助金等			
車両	1,615,550			本社交付金	0		
車両減価償却累計額	67,314	1,548,236		支部繰入金	0		
放射性同位元素	0			その他の繰入金	0		
放射性同位元素減価償却累計額	0	0		補助金	0		
その他の有形固定資産	66,871,500			寄付金	54,040,000		
その他の有形固定資産減価償却累計額	63,170,510	3,700,990		固定資産再評価益(損)金	2,566,395		
土地		0		固定資産処分益(損)金	0		
建設仮勘定		0		4. 補助金等合計			
有形固定資産合計		2,077,775,434				56,606,395	
				利益剰余金			
(2) 無形固定資産				当期末処分利益(損失)	3,151,089,973		
借地権		0		5. 利益剰余金合計			
ソフトウェア		23,506,776				3,151,089,973	
その他の無形固定資産		30,625		有価証券評価差額金		0	
無形固定資産合計		23,537,401					
				純資産合計			
(3) その他の資産							3,223,682,821
有価証券		0					
長期貸付金		63,400,000					
預金		0					
長期未収金		0					
長期前払費用		1,455,142					
施設整備準備積立金		0					
病院建物建設資金出資金		808,130,168					
病院財政調整事業資金出資金		367,627,895					
出資金		217,850					
退職拠出金		1,913,837,105					
前払年金費用		0					
預託金		10,050					
繰延税金資産		0					
その他の固定資産		0					
その他の資産合計		3,154,678,210					
固定資産合計			5,255,991,045				
資産合計			12,866,409,079	負債及び純資産合計			12,866,409,079

令和4年度キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

	金額
1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	214,183,447
減価償却費	774,743,858
所有有形固定資産減価償却費	560,076,979
リース有形固定資産減価償却費	206,664,945
所有無形固定資産減価償却費	8,001,934
リース無形固定資産減価償却費	0
長期前払費用減価償却費	0
貸倒引当金の増減	-19,933,438
賞与引当金の増減	-86,819,696
医療訴訟引当金の増減	0
退職給付引当金の増減	46,729,107
退職拠出金の増減	-153,961,393
前払年金費用の増減	0
退職交付受入金の増減	0
その他の引当金の増減	0
施設設備補助金等収益	-147,399,081
受取利息	-290,411
支払利息	3,921,814
有形固定資産売却損	0
有形固定資産除却損	11,990,504
無形固定資産売却損	0
無形固定資産除却損	0
前期損益修正損	0
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	0
その他	0
その他特別損失	0
有形固定資産売却益	-85,530
無形固定資産売却益	0
前期損益修正益	0
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	0
その他	0
その他特別利益	0
医業未収金の増減	-79,814,709
未収金の増減	138,074,415
医薬品の増減	4,471,870
診療材料の増減	0
給食用材料の増減	-137,511
貯蔵品の増減	59,048
前渡金の増減	0
前払費用の増減	15,909,977
未収収益の増減	-97,209
その他流動資産の増減	13,702,956
買掛金の増減	-142,024,149
未払金の増減	-19,538,783
未払費用の増減	-13,251,847
前受金の増減	-13,731,680
預り金の増減	-5,857,193
職員預り金の増減	492,860
前受収益の増減	-60,000
その他の流動負債の増減	150,235,933
その他	15,000,000
小計	706,513,159
利息の受取額	0
利息の支払額	-3,921,814
法人税等の支払額	0
業務活動によるキャッシュ・フロー(A)	702,591,345

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	-500,000,000
定期預金の払戻による収入	500,000,000
有価証券の取得による支出	0
有価証券の償還等による収入	0
所有有形固定資産の取得による支出	-710,006,801
所有有形固定資産の売却による収入	85,530
所有無形固定資産の取得による支出	-11,883,300
所有無形固定資産の売却による収入	0
長期前払費用の取得による支出	-292,600
施設設備補助金等の受入による収入	39,609,316
短期貸付金の増減	0
長期貸付による支出	-21,500,000
長期貸付金の回収による収入	8,100,000
病院建物建設資金出資金の払込による支出	-34,877,252
病院建物建設資金出資金の返還による収入	0
病院財政調整事業資金出資金の払込による支出	-7,750,500
病院財政調整事業資金出資金の返還による収入	0
出資金の払込による支出	0
出資金の返還による収入	0
預託金の預入による支出	0
預託金の払戻による収入	0
その他の固定資産による支出	0
その他の固定資産による収入	0
その他	-49,392
投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	-738,564,999
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減	0
長期借入による収入	100,000,000
長期借入金の返済による支出	-337,600,000
リース債務未払金の返済による支出	-206,834,162
預り出資金の受入による収入	0
預り出資金の払戻による支出	0
その他の固定負債による支出	0
その他の固定負債による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー(C)	-444,434,162
4. 現金及び現金同等物の増加額(A+B+C)	-480,407,816
5. 現金及び現金同等物期首残高	3,575,656,040
6. 現金及び現金同等物期末残高	3,095,248,224
チェック	0

※ 病院収益合計	22,176,208,193
※ 病院費用合計	21,962,024,746
※ 法人税等計	0